

Shizuoka Seiki

良食味米育成支援システム

GTRice シリーズ

取扱説明書



 **静岡製機株式会社**

目次

1. 主要諸元	1
2. インストールおよびセットアップ	4
(1)インストール前の設定確認	5
(2)USB シリアル変換アダプタ (REX-USB60F) ドライバのインストール	10
(3)バーコードタッチスキャナ用ドライバのインストール	10
(4)GTRice のインストール	13
(5)メイン画面_「D. 各種タブ情報欄」の設定	16
(6)食味分析計のセットアップ	19
(7)穀粒判別器のセットアップ	20
(8)バーコードタッチスキャナ (オプション) のセットアップ	21
(9)管理システム名とデータファイル名の決定	21
(10)通信の設定	22
3. 各バージョンの操作一覧表	23
(1)営農指導版	23
(2)データ管理版	24
(3)食味分析計版	25
(4)流通版	26
4. 画面設定	27
(1)GTRice の起動	27
(2)データベース・データファイルの作成	29
(3)測定条件設定	29
5. 測定データの表示・印刷・保存	40
(1)測定結果の表示	40
(2)測定結果の印刷	40
(3)測定データの保存	46
6. 各メニューバーの項目説明	47

(1) ファイル	47
[1] データベースの作成	47
[2] データベース選択	48
[3] データファイルの新規作成	48
[4] データファイルを開く	49
[5] データファイルに名前をつけて保存	49
[6] データファイルの削除	49
[7] プリンタ設定	50
[8] 終了	50
(2) データファイル入出力	51
[1] 外部データファイルの読み込み	51
[2] 外部への出力	53
(3) 編集 (各種マスタ)	54
[1] 参照マスタ編集	54
[2] 生産者マスタ編集	56
[3] 肥料マスタ編集	60
[4] ランクマスタ編集	62
[5] 表示しているデータの削除	62
[6] 一覧削除	63
[7] データ検索	64
(4) 印刷 (測定結果の印字)	65
[1] 単票印刷	65
[2] 日報印刷	67
(5) 設定 (各種条件設定)	68
[1] 自動採番設定	68
[2] 機器・通信設定	68
[3] システム設定	69

7. 診断書のコメント表示	70
(1) 診断書に表示されるコメントについて	70
8. トラブルシューティング	73
連絡先	78

1. 主要諸元

品名：良食味米育成支援システム (GTRice)

対応機器

食味分析計 (TM3500、BR/AG、SGE/SRE)

穀粒判別器 (ES-1000、ES-V)

バーコードタッチスキャナ(※オプション)

システム要件

	対応 OS	CPU	メモリ	ハード ディスク	ディス プレイ	USB ポート
必要 スペック	Windows 7/8/8.1/10 (32ビット、 64ビット)	1.6GHz 以上	2 GB 以上	10.0 GB 以上の ディスク 空き容量	1366 ×768 以上	5ポート以上 (USBハブ を含む)
推奨 スペック	Windows 7/8/8.1/10 (64ビット)	マルチコア 2GHz 以上	8GB 以上			

必要ソフトウェア：Microsoft Excel 2007 以降

付属品：プロテクト用 USB メモリ 1 個

USB シリアル変換アダプタ

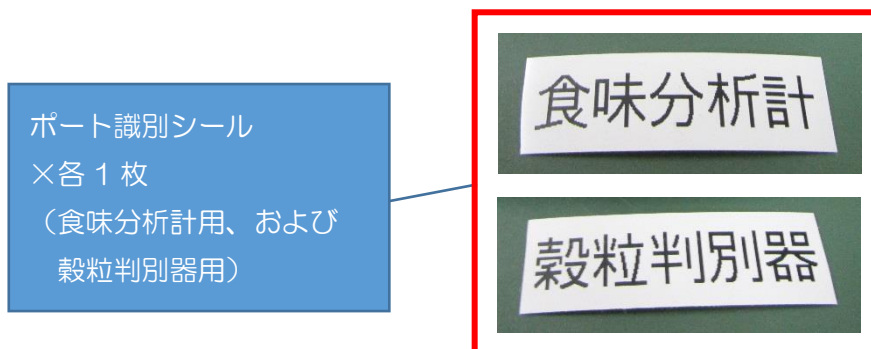
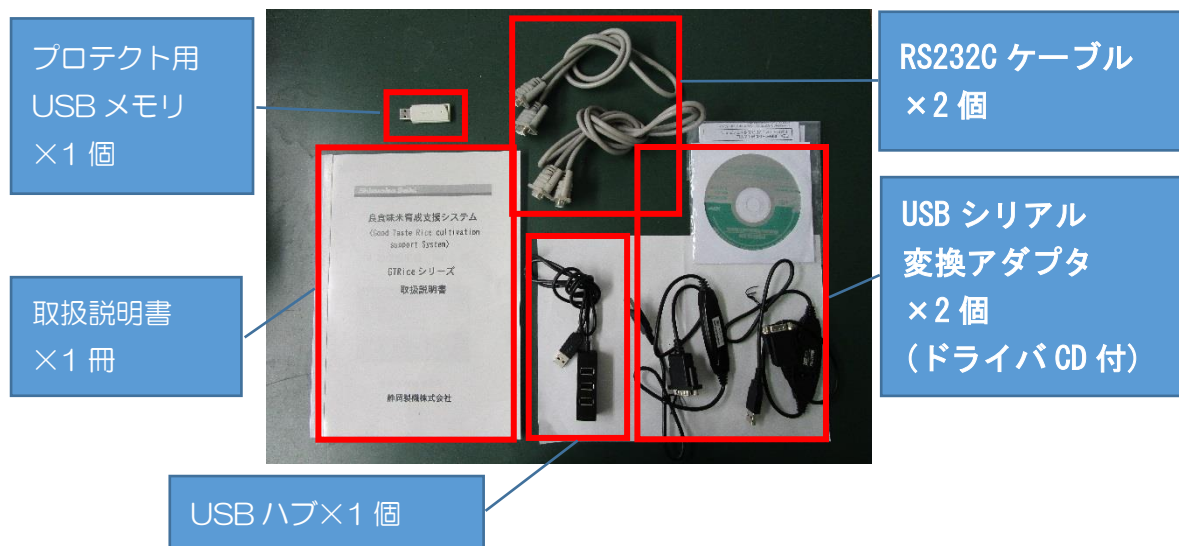
RS232C ケーブル

USB ハブ 1 個

取扱説明書 1 冊

ポート識別シール

【営農指導版・データ管理版・流通版の付属品】

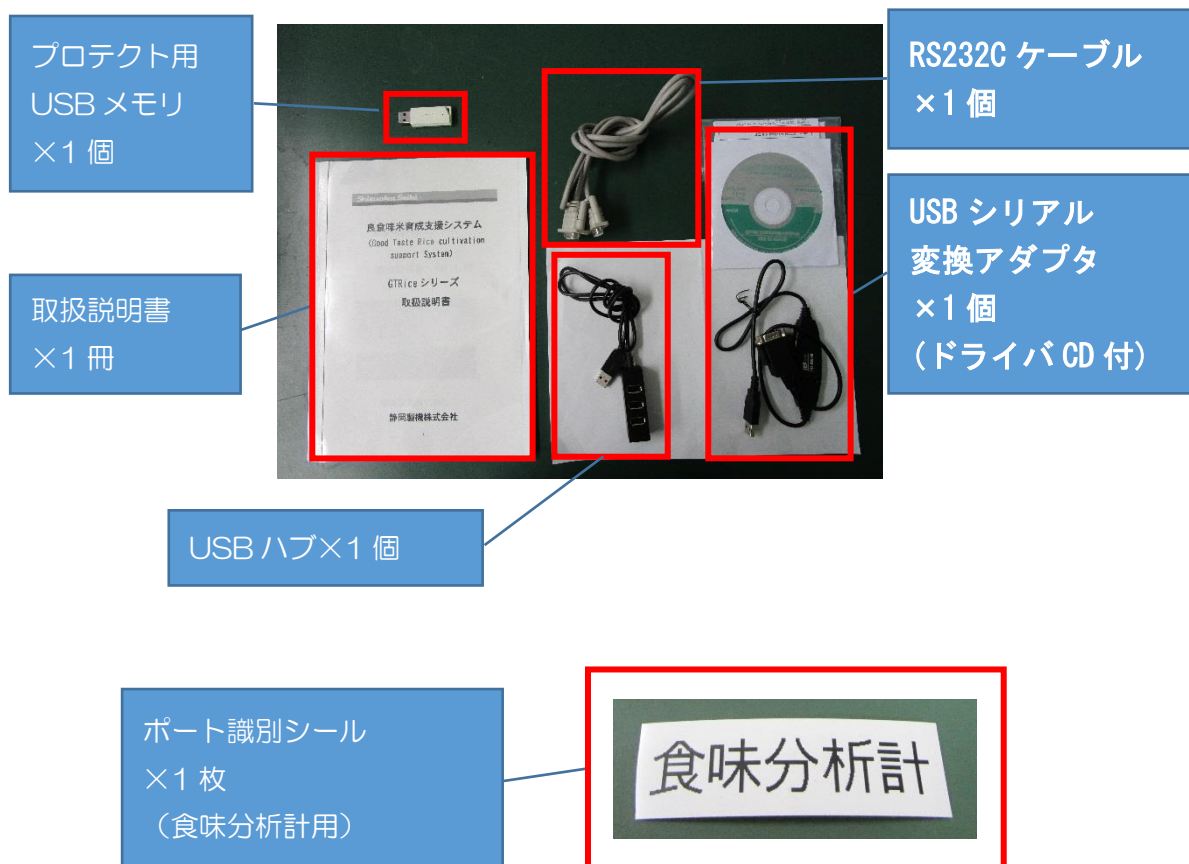


注意

本品をインストールする場合は、お手持ちのパソコンに測定器（食味分析計、穀粒判別器）およびオプション品（バーコードタッチスキャナ）が接続されていないことをご確認ください。

すでに測定器およびオプション品が接続されている場合には、パソコンを一度シャットダウンし、測定器およびオプション品の接続ケーブルをパソコンから抜いた後、インストール作業を実施してください。

【食味分析計版の付属品】

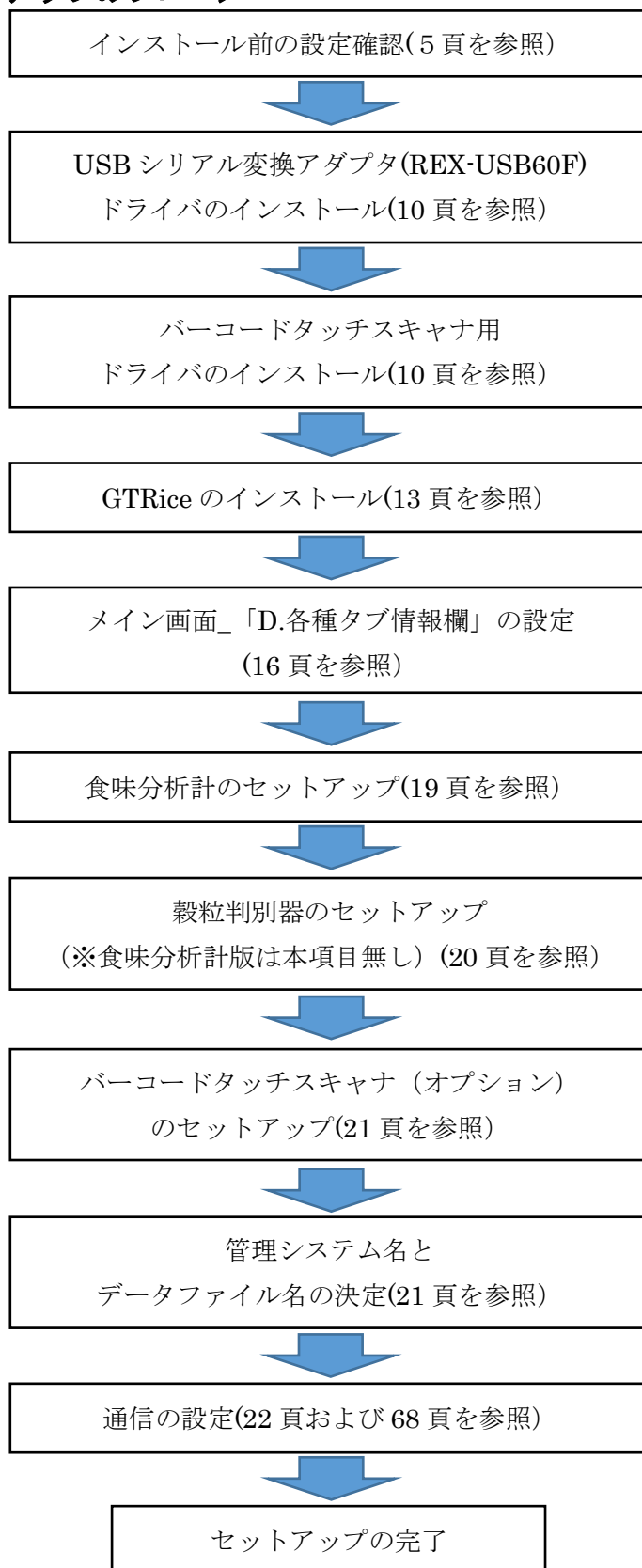


注意

本品をインストールする場合は、お手持ちのパソコンに食味分析計、およびオプション品（バーコードタッチスキャナ）が接続されていないことをご確認ください。

すでに測定器およびオプション品が接続されている場合には、パソコンを一度シャットダウンし、測定器およびオプション品の接続ケーブルをパソコンから抜いた後、インストール作業を実施してください。

2. インストールおよびセットアップ ＜セットアップのフロー＞



(1) インストール前の設定確認

ディスプレイの解像度と文字については、予め前頁のシステム要件に示したサイズに設定してください。

(ディスプレイ:1366 × 768 以上の解像度

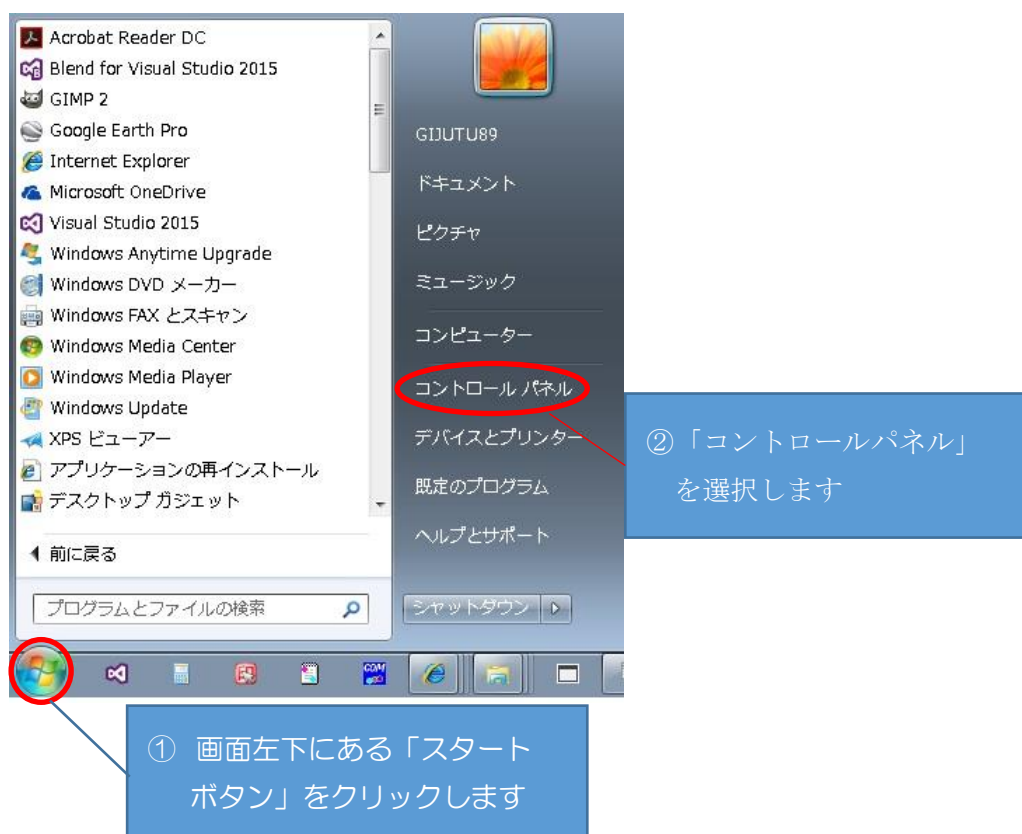
(DPI:96 かつ画面上の文字 100%))

お使いのパソコンで文字のサイズを大きく設定している場合は、文字サイズを 100%に戻してください。

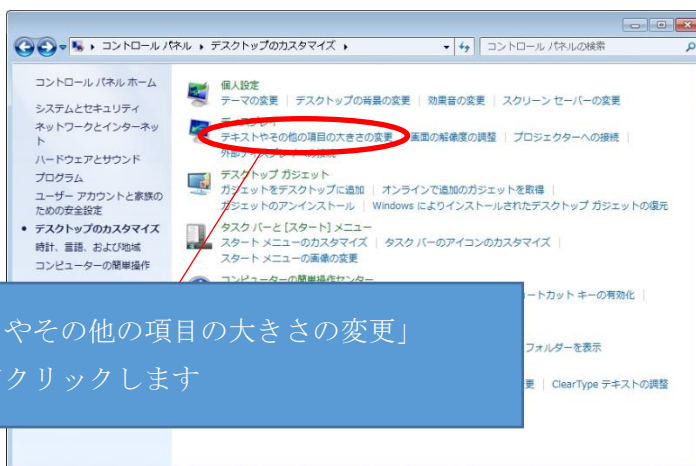
【文字サイズの変更方法】

・ Windows7 の場合

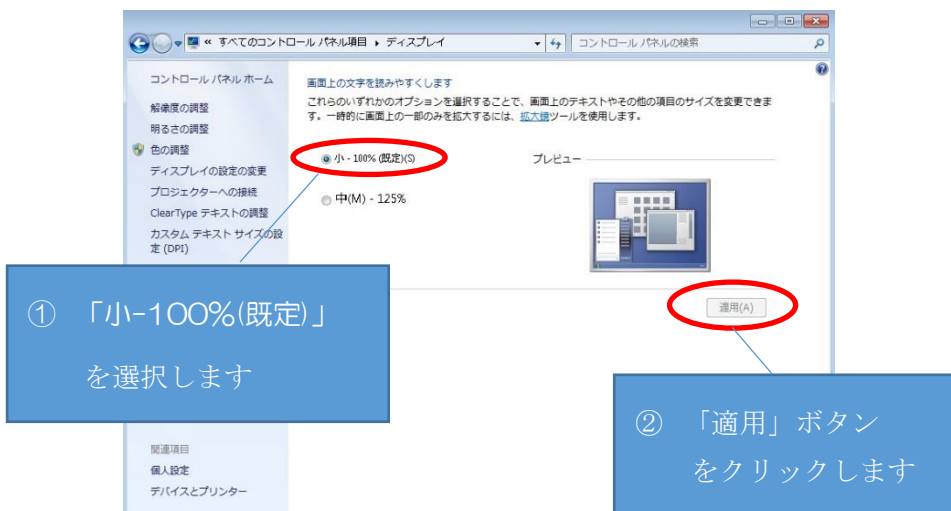
画面左下にあるスタートボタンをクリックして、開いた画面からコントロールパネルを選択してください。



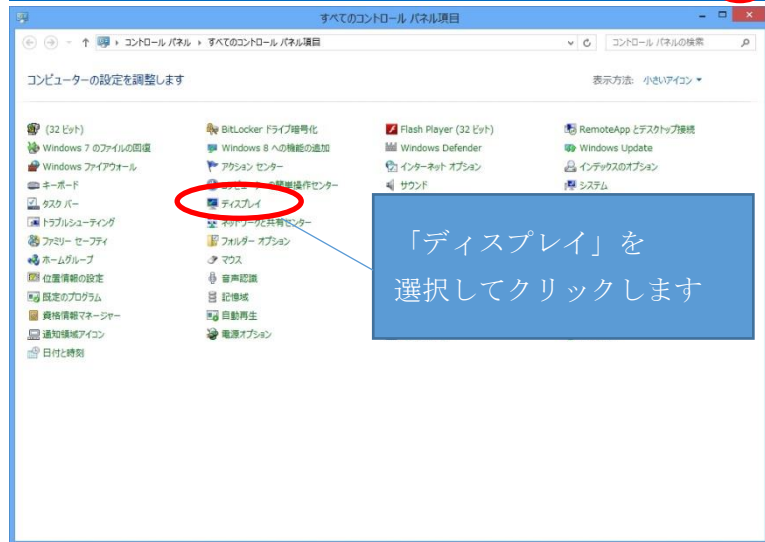
コントロールパネルで「デスクトップのカスタマイズ」をクリックしてください。続けて開いたウインドウの中にある「テキストやその他の項目の大きさの変更」をクリックしてください。



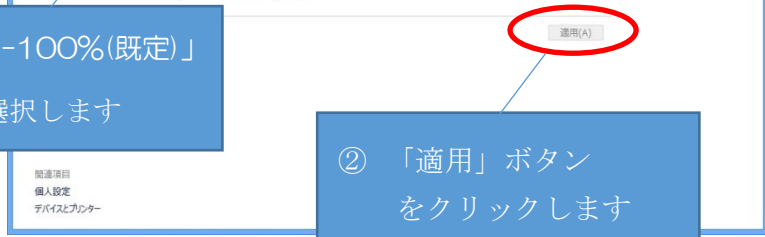
「ディスプレイ」の画面で、「小-100%(既定)」を選択してから「適用」ボタンをクリックしてください。



・ Windows8 および 8.1 の場合

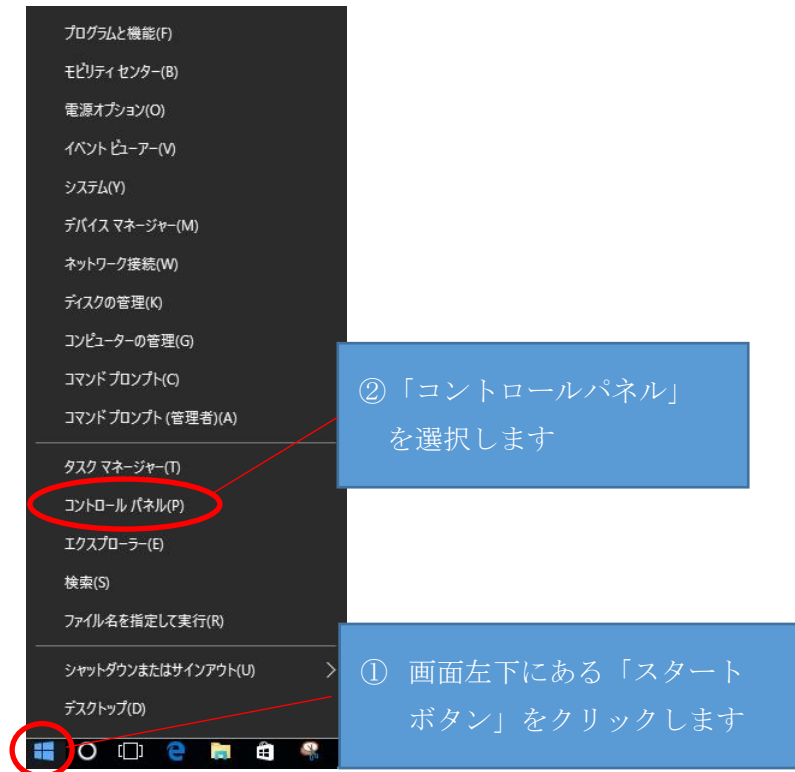


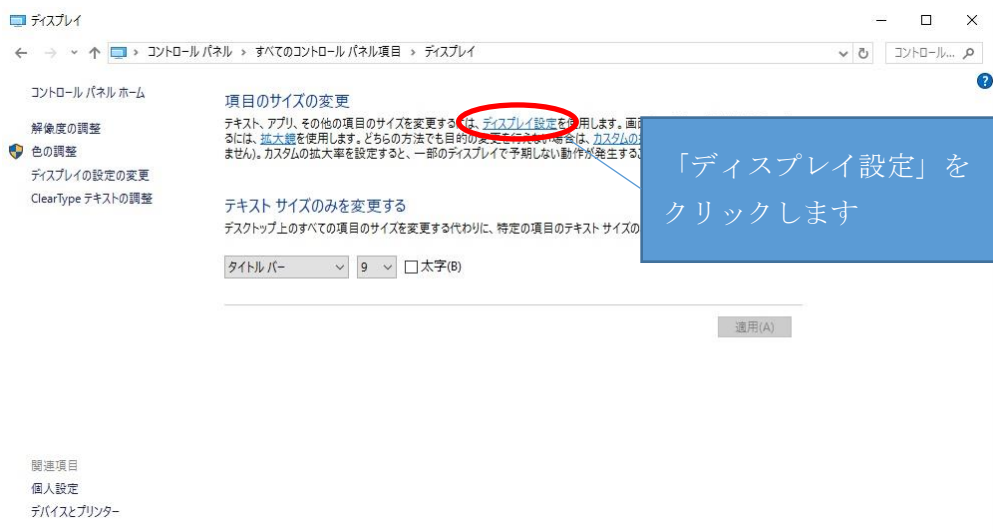
① 「小-100%(既定)」
を選択します



② 「適用」ボタン
をクリックします

・ Windows10 の場合





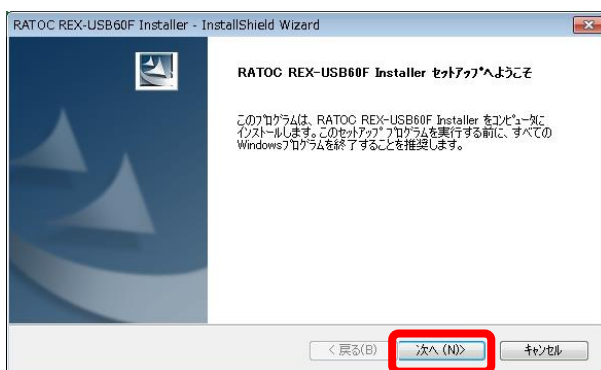
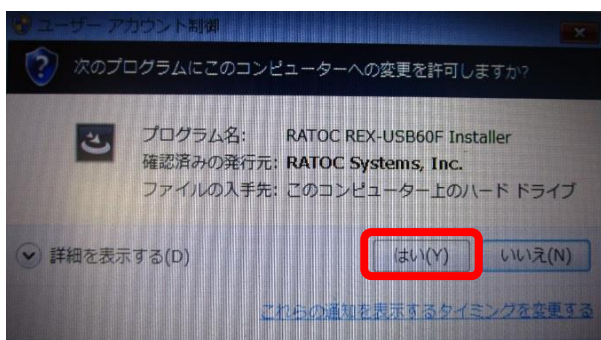
注意

GTRice 使用時（インストール時を含む）は、常にプロテクト用 USB メモリをお使いのパソコンの USB ポートに取り付けておくようにしてください。

また、プロテクト用 USB メモリは紛失しないようにしてください。万一紛失した場合には、再発行が必要となります（※有償）。

(2) USB シリアル変換アダプタ (REX-USB60F) ドライバのインストール

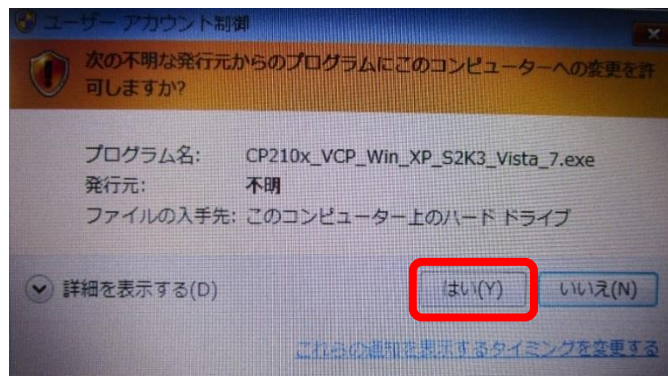
- ① USB メモリ内の GTRice_Setup フォルダをダブルクリックで開きます。
- ② USB シリアル変換アダプタフォルダの「USB60F_Setup」をダブルクリックして起動します。画面表示に従ってインストール作業を進めて下さい。
- ③ 変更の許可とインストールを求められますので「はい」をクリックします。



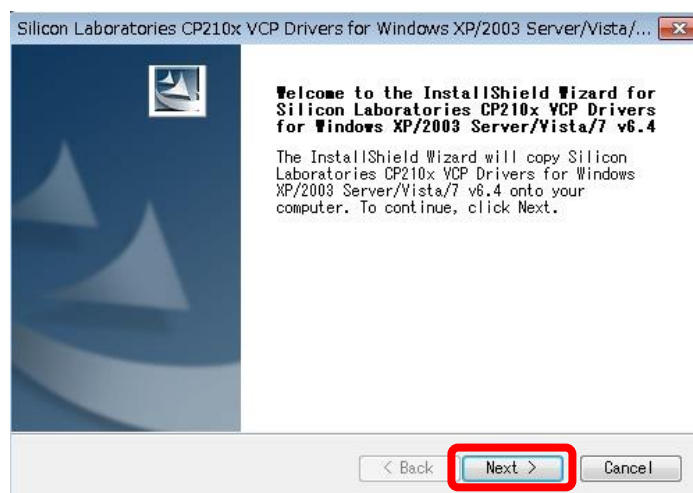
オプション品のバーコードタッチスキャナをご使用になる場合は、以下の手順にて、ドライバのインストールを行ってください。使用しない場合は「(4) GTRice のインストール」に進んでください。

(3) バーコードタッチスキャナ用ドライバのインストール

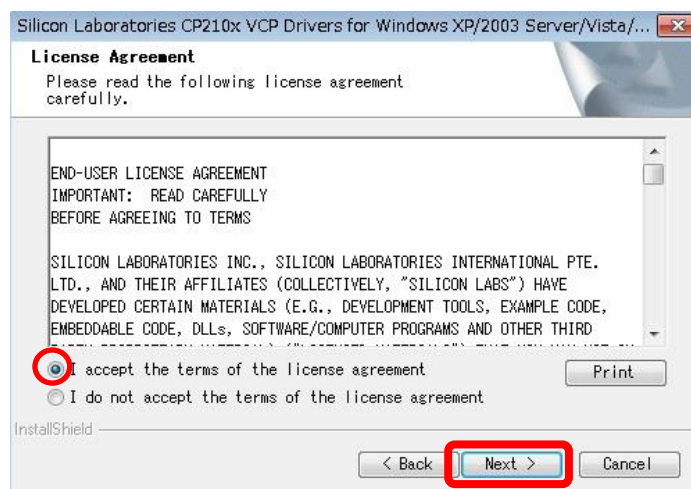
- ① その USB メモリ内の GTRice_Setup フォルダをダブルクリックで開き、バーコードリーダーフォルダにある「CP210x_VCP_Win_XP_S2K3_Vista_7」をダブルクリックして起動します。
変更の許可を求められますので、「はい」をクリックしてください。



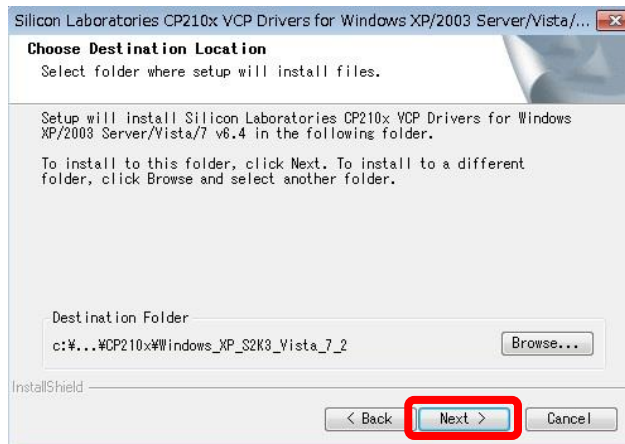
- ② 下記の手順にて、バーコードタッチスキャナ用のドライバをインストールしてください。



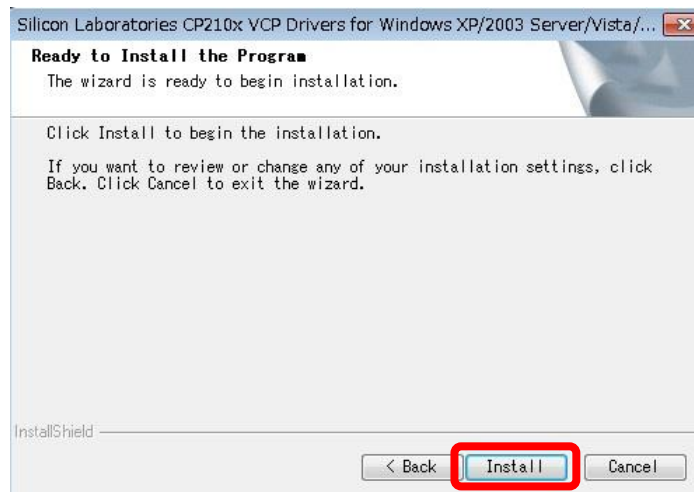
- ③ 下記画面上の項目 (I accept...) にチェックを入れ、「Next」をクリックしてください。



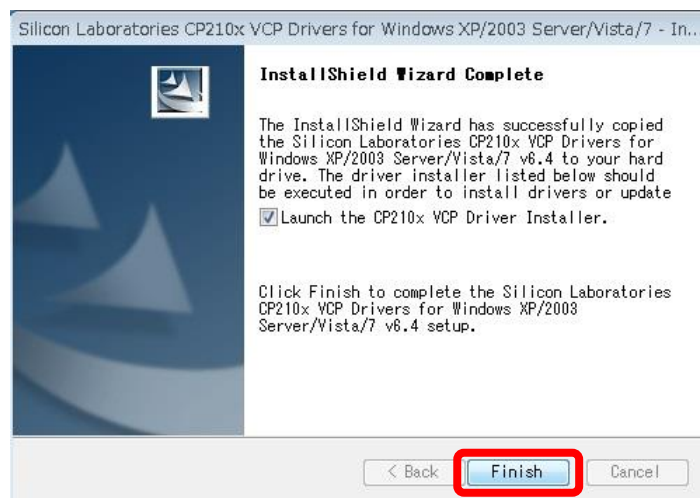
④ 「Next」 をクリックしてください。



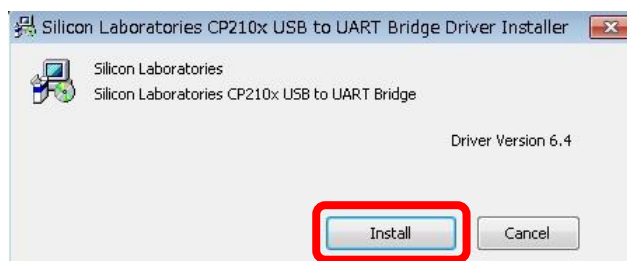
⑤ 「Install」 をクリックしてください。



⑥ 「Finish」 をクリックしてください。



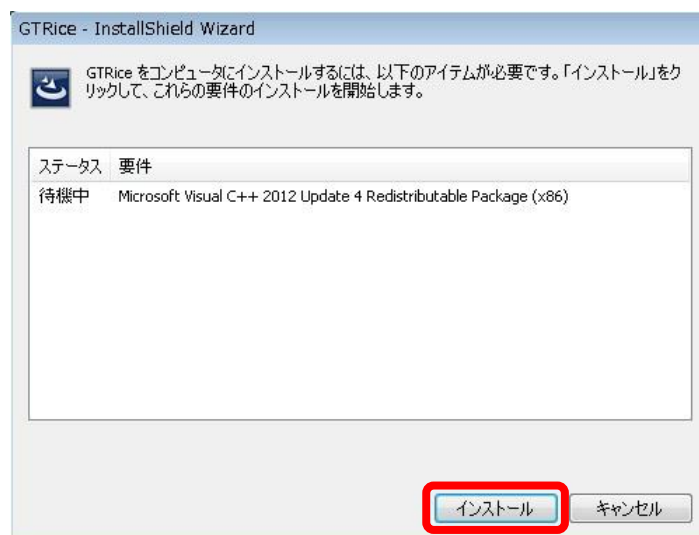
⑦ 「Install」 をクリックしてください。



(4) GTRice のインストール

USB メモリ内の GTRice_Setup フォルダにあるインストーラ (setup) をダブルクリックして起動し、以下の手順にてインストールしてください。

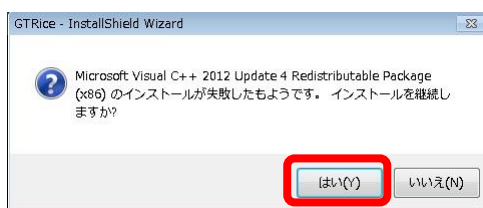
① 「インストール」 をクリックしてください。



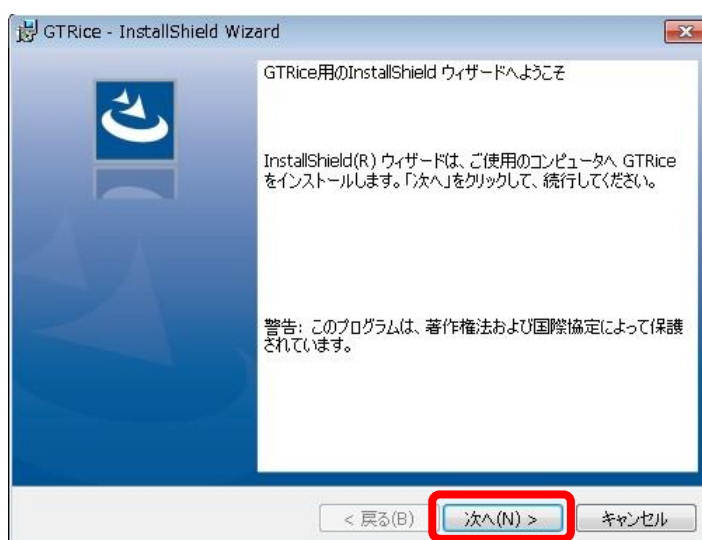
② 変更の許可を求められますので、「はい」 をクリックしてください。



既にインストールされている場合には、下記メッセージが表示されますが、「はい」をクリックし、インストールを継続してください。

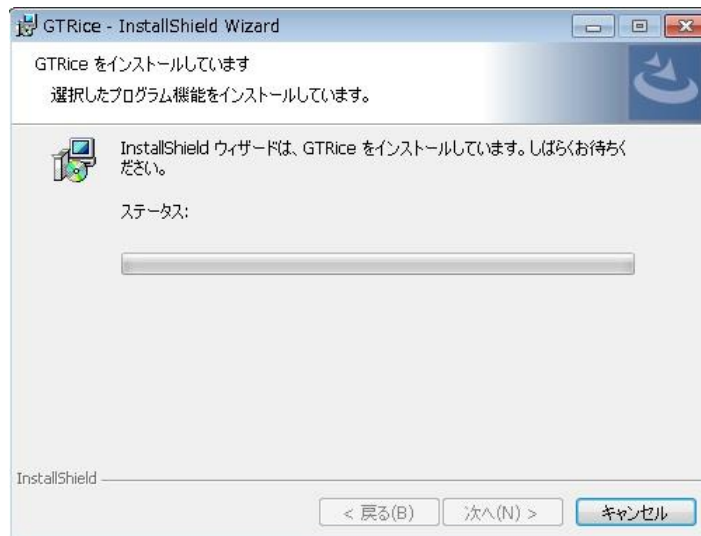


③ 「次へ」をクリックしてください。



④ 「インストール」をクリックして、インストールを開始してください。
下図のユーザー情報の項目には、
お使いのパソコンのユーザー情報が表示されます





⑤変更の許可を求められますので、「はい」をクリックしてください。



⑥「完了」をクリックしますと、インストールが完了します。



(5) メイン画面_「D.各種タブ情報欄」の設定

「GTRice」のインストールが完了しますと、メイン画面に表示します
「D:各種タブ情報欄」の各項目を変更または追加することができます。

「D.各種タブ情報欄」の設定を行います

D.各種タブ情報欄

サンプル情報

サンプルNo.	00000001
測定年月日	2016/03/30
品 種 △	
等級 △	

食味分析計 試料No.

食味成分・特性値		劣	普	良
水分	%			
タンパク	%			
アミロース	%			
脂肪酸度				
スコア				

比較判別器 測定結果 試料No.

外観品質測定値		劣	普	良
粒形	%			
活粒	%			
白粒	%			
糠	%			
他未計	%			
ぬじれ	%			
糠茶葉	%			
発芽粒	%			
原形粒	%			
横一糸	%			
奇形粒	%			
斑粒	%			
死米	%			
青死米	%			
白死米	%			
全百着	%			
赤米	%			
その他	%			
他雑査	%			

レーダーチャート

水分

タンパク

アミロース

脂肪酸度

スコア

食味格付

外観格付

総合評価

メイン画面の構成につきましては、後述の「4.画面設定」

「GTRice メイン画面の説明」をご覧ください。

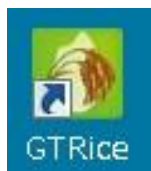
項目を変更または追加する必要がない場合には、「次へ」をクリックし、次の設定画面へ進んでください。

デスクトップに作成された GTRice のショートカットアイコンをダブルクリックして、GTRice ソフトを起動します。

購入いただきましたバージョンが表示されます。

お手持ちの測定器がパソコンに接続されていないことを確認して、「次へ」をクリックしてください。

【ショートカットアイコン】



システムセットアップ

インストールシステム

- 営農指導版
- データ管理版
- 食味分析計版
- 流通版

【セットアップ開始の前に】
お手持ちの測定器をパソコンに接続している場合には、パソコンから取り外したうえで、セットアップを開始して下さい。

戻る

次へ

- ①右側に表示例を示してあります。表示名称を変更したい場合は、
下図の赤枠内の項目を変更してください。

＜＜本項目機能は「流通版」にはございません。＞＞

- ②新しく管理したい項目を自由項目として最大 10 項目まで追加することが
できます。

＜＜営農指導版・データ管理版・食味分析計版の場合＞＞

管理したい項目を追加する場合は、下図の赤枠内にタブ名称および
管理したい項目の名称（表示名）を入力してください。

変更後は、表示内容を確認後、「次へ」をクリックしてください。

項目を変更または追加する必要がない場合には、「次へ」を
クリックし、次の設定画面へ進んでください。

<<流通版の場合>>

流通版では予め項目とタブの名称にデフォルトの名称が入っています。
変更が必要な場合には、下図の赤枠内の項目を変更してください。
変更後は、表示内容を確認後、「次へ」をクリックしてください。
項目を変更または追加する必要がない場合には、「次へ」をクリックし、次の設定画面へ進んでください。

システムセットアップ (ユーザータブ情報設定)

自由項目を最大10項目まで、表示名を入力して「次へ」をクリックすることで追加できます
自由項目を追加する場合には、タブの名称も入力してください。
自由項目が不要な場合には、空欄のまま「次へ」をクリックしてください。

タブ名称 自由項目

表示名1 白度
表示名2 千粒重(g)
表示名3 容積重(g/l)
表示名4 胚芽残存(%)
表示名5 水溶性固形物(%)
表示名6 湿度(ppm)
表示名7 鮮度
表示名8 備考IV
表示名9 備考V
表示名10 備考VI

生産者情報 | 圃場情報 | 土壌管理 | 施肥情報 | 自由項目 | コメント | 画像

表示名1
表示名2
表示名3
表示名4

戻る 次へ

③営農指導版では、各種タブ情報を選択することが出来ます。
管理したいタブ項目欄に☑を入れてください。

<<本項目機能は「営農指導版」のみ有効です。>>

システムセットアップ (タブ情報)

使用するタブにチェックを入れて、「次へ」をクリックしてください。

“圃場情報”使用する
 “土壌管理”使用する
 “施肥情報”使用する
 “コメント記入”使用する
 “画像表示”使用する

生産者情報 | 圃場情報 | 土壌管理 | 施肥情報 | コメント | 画像

産年△
収量 kg/ha
ほ場番号
土壌群名△
土改材名△
土改材投入量 kg
稲葉処理△
有機投入量 kg/ha
育苗種式△
倒伏有無△
穀物密度 (ca) cm
穀物密度 (株/坪) 株/坪
病害虫△
備考1
備考2
備考3

戻る 次へ

(6) 食味分析計のセットアップ

以下の手順にて食味分析計のセットアップをしてください。

システムセットアップ (食味分析計)

使用する食味分析計の通信設定を行います。

食味分析計を使用しますか？ YES NO I

食味分析計の種類 TM-3500 II

食味分析計をパソコンに接続して、「次へ」ボタンを押してください。

次へ III

接続ポート

戻る 次へ IV

- I. 食味分析計の使用の有無 (YES/NO) を選択してください。
- II. 食味分析計を使用する場合は、使用機種を選択してください。
- III. 食味分析計をパソコンに接続してください。

測定器は USB ハブを介さず、直接パソコンの USB ポートに接続するようにしてください。

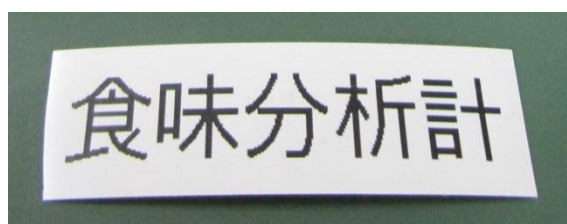
接続後、「次へ」をクリックしますとポートを自動検出します。
(検出したポートの番号が「接続ポート」欄に表示されます。)

- IV. ポートの自動検出後、「次へ」をクリックすると食味分析計のセットアップが完了して次の設定に進みます。

ポート番号は、各測定器をパソコンのどの USB ポートに接続するかで変わります。

測定器毎に使用ポートを固定することをお勧めします。
食味分析計を接続しているパソコンの USB ポート付近に、
付属のポート識別シール(食味分析計用、下図参照)を
目印として貼り付けてください。

【食味分析計用のポート識別シール】



(7) 穀粒判別器のセットアップ

＜＜本項目機能は「食味分析計版」にはございません。＞＞



- I. 穀粒判別器の使用の有無 (YES/NO) を選択してください。
- II. 穀粒判別器を使用する場合は、使用機種を選択してください。
- III. 穀粒判別器をパソコンに接続してください。

測定器は USB ハブを介さず、直接パソコンの USB ポートに接続するようにしてください。

接続後、「次へ」をクリックしますとポートを自動検出します。
(検出したポートの番号が「接続ポート」欄に表示されます。)

- IV. ポートの自動検出後、「次へ」をクリックすると穀粒判別器のセットアップが完了して次の設定に進みます。

ポート番号は、各測定器をパソコンのどの USB ポートに接続するかで変わります。

**測定器毎に使用ポートを固定することをお勧めします。
穀粒判別器を接続しているパソコンの USB ポート付近に、
付属のポート識別シール(穀粒判別器用、下図参照)を
目印として貼り付けてください。**

【付属の穀粒判別器シール】



(8) バーコードタッチスキャナ（オプション）のセットアップ

システムセットアップ(バーコード)

使用するバーコードの通信設定を行います。

バーコードを使用しますか？ YES NO I

バーコードをパソコンに接続して、「次へ」ボタンを押してください。 II

次へ

接続ポート

戻る 次へ III

- I. バーコードタッチスキャナの有無（YES/NO）を選択してください。
- II. バーコードタッチスキャナを使用する場合は、パソコンに接続してください。

接続後、「次へ」をクリックするとポートを自動検出します。

（検出したポートの番号が「接続ポート」欄に表示されます。）

- III. ポートの自動検出後、「次へ」をクリックするとバーコードタッチスキャナのセットアップが完了して次の設定に進みます。

(9) 管理システム名とデータファイル名の決定

画面を参照して、システム名と玄米・精米用の各データファイル名を決めて入力してください。入力後は、「次へ」をクリックしてください。

（これまでの設定が反映され、GTRiceのメイン画面が立ち上がります。）

システムセットアップ

システム名およびデータ名を決めて入力してください。

システム名: 玄米および精米の測定データファイルを格納するフォルダの名称

各データ名: 玄米および精米の測定データファイルの名称

システム名

玄米用データ名

精米用データ名

【入力例】

システム名: 2016年サンプル測定

玄米用データ名: 玄米 2016

精米用データ名: 精米 2016

戻る 次へ

(10) 通信の設定

GTRice のメイン画面が立ち上がったら、測定機器との通信設定を行います。
通信設定については、「6. 各メニューバーの項目説明」の中の「(5) 設定(各種条件設定)」にある「[2] 機器・通信設定」を参照してください。

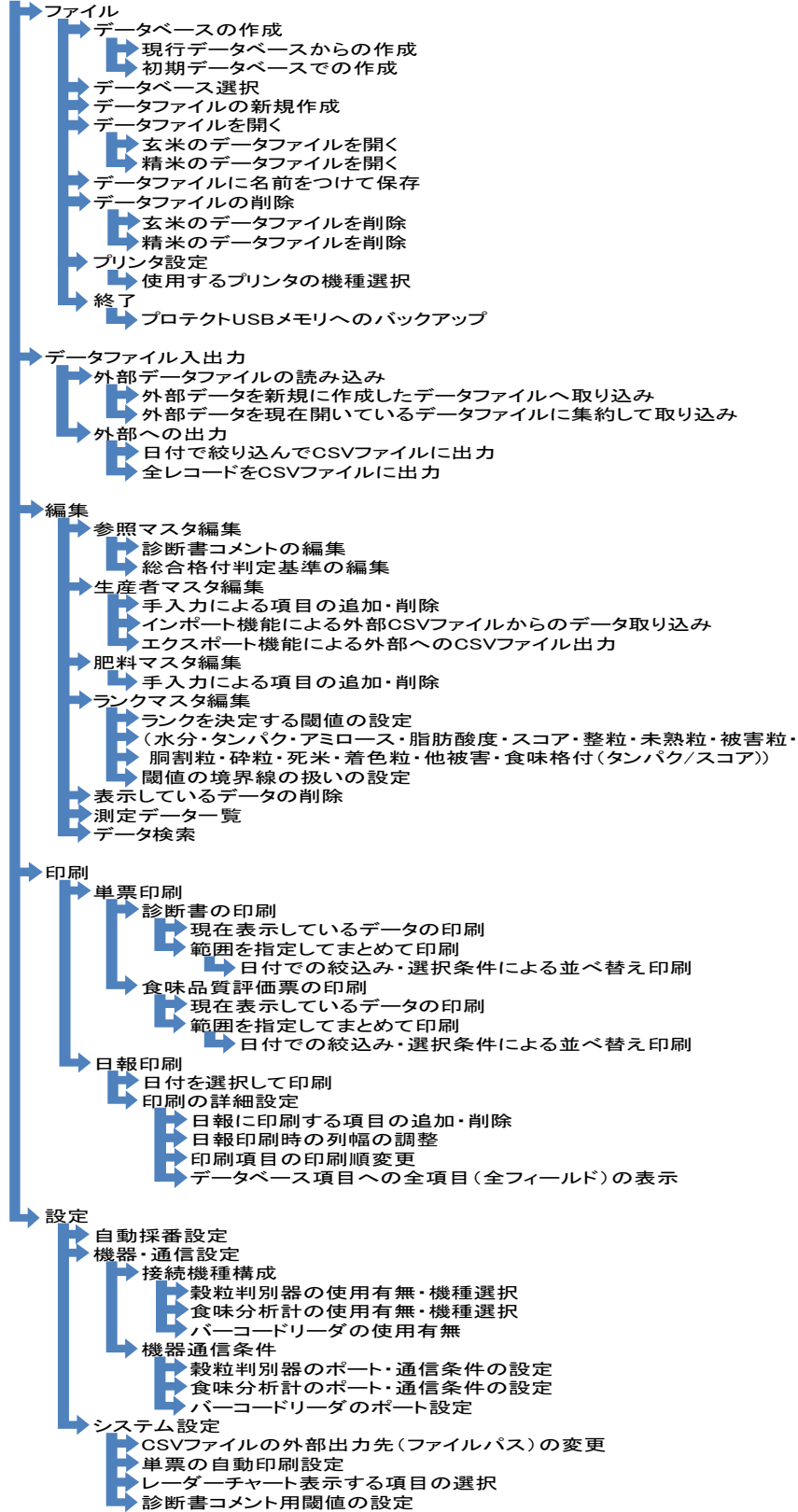
※機器通信条件は、測定機器側の通信設定と同じ設定にしておく
必要があります

また画面についての設定を行う場合は、「4. 画面設定」を参照してください。

3. 各バージョンの操作一覧表

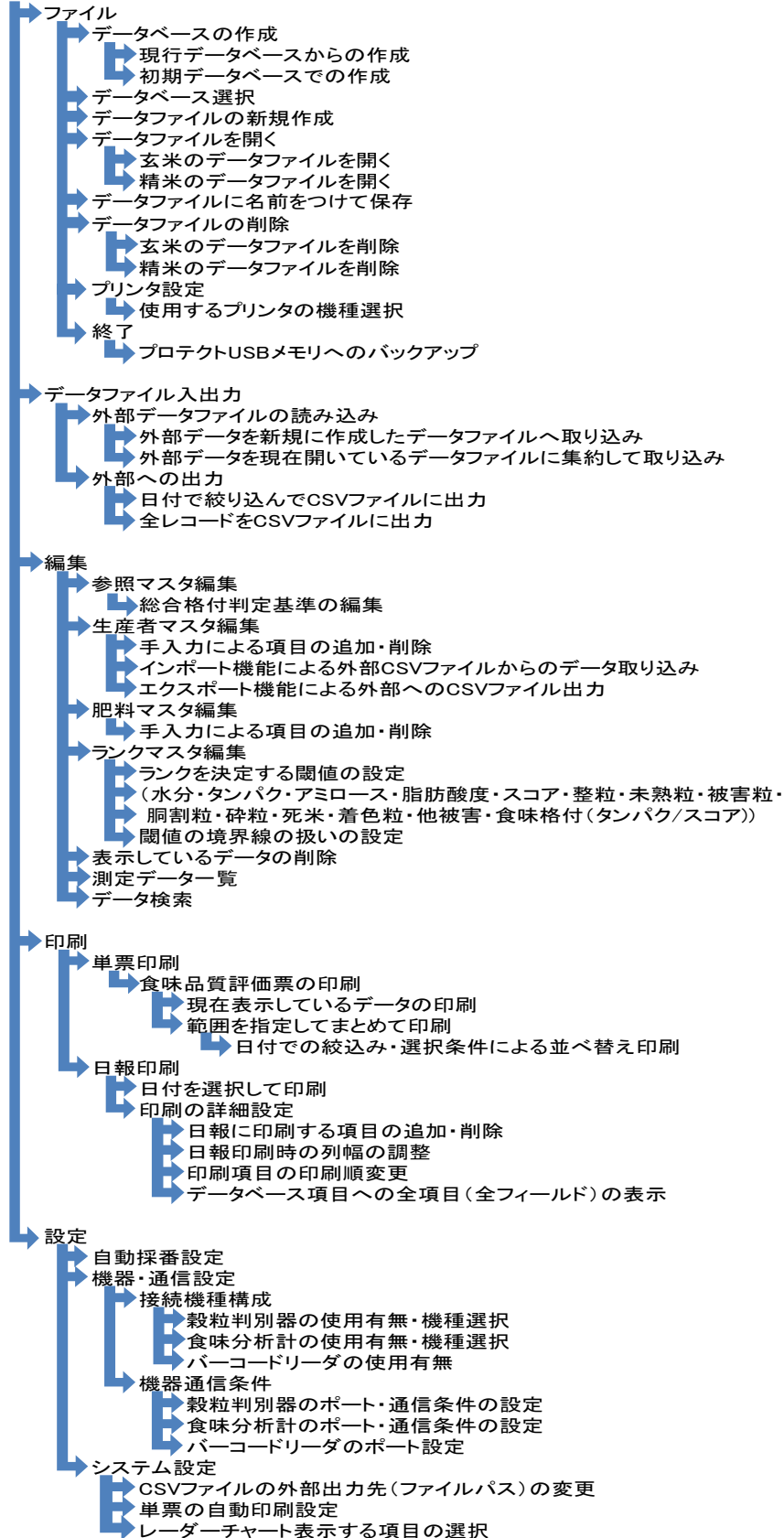
(1) 営農指導版

【営農指導版の操作一覧表】



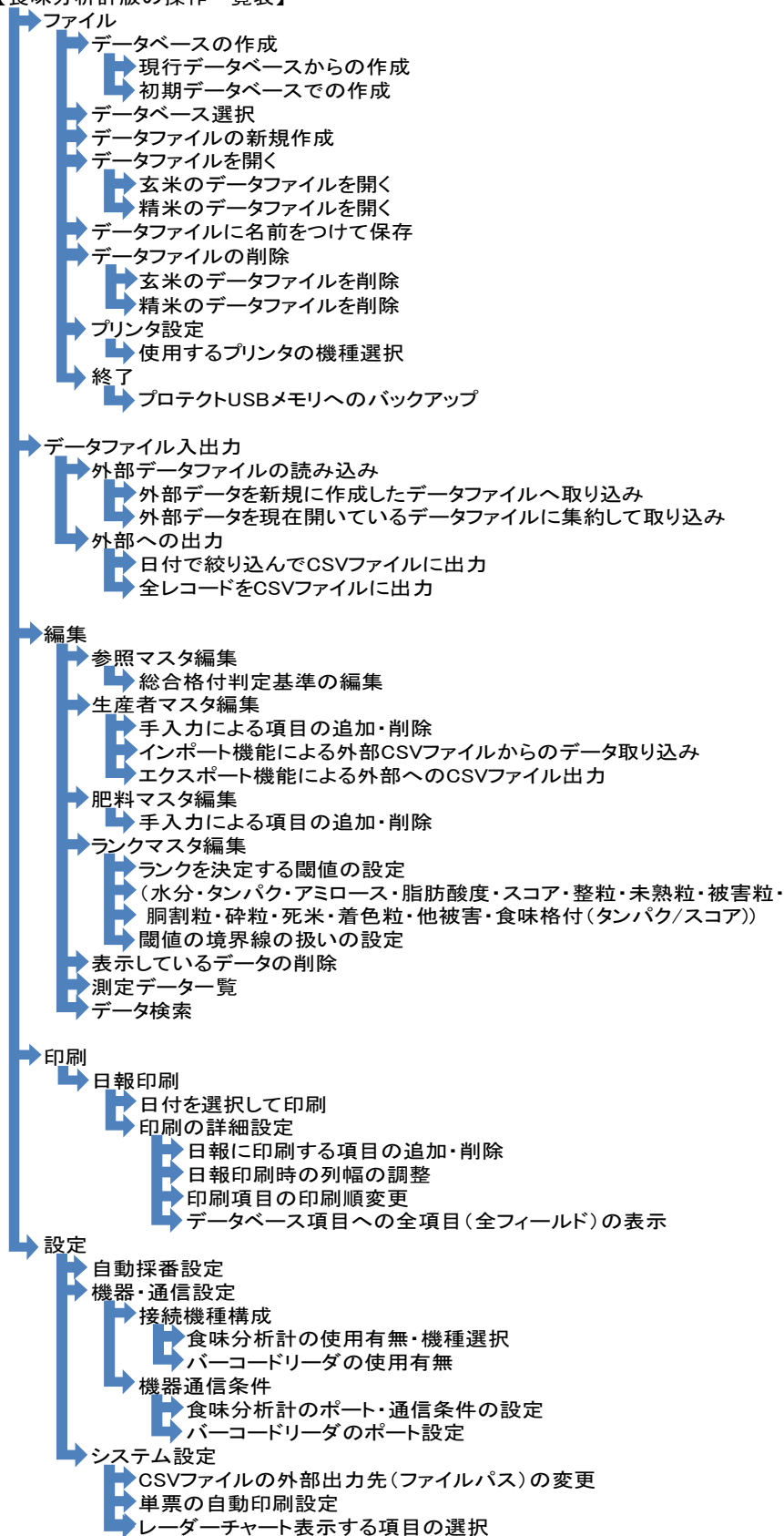
(2) データ管理版

【データ管理版の操作一覧表】



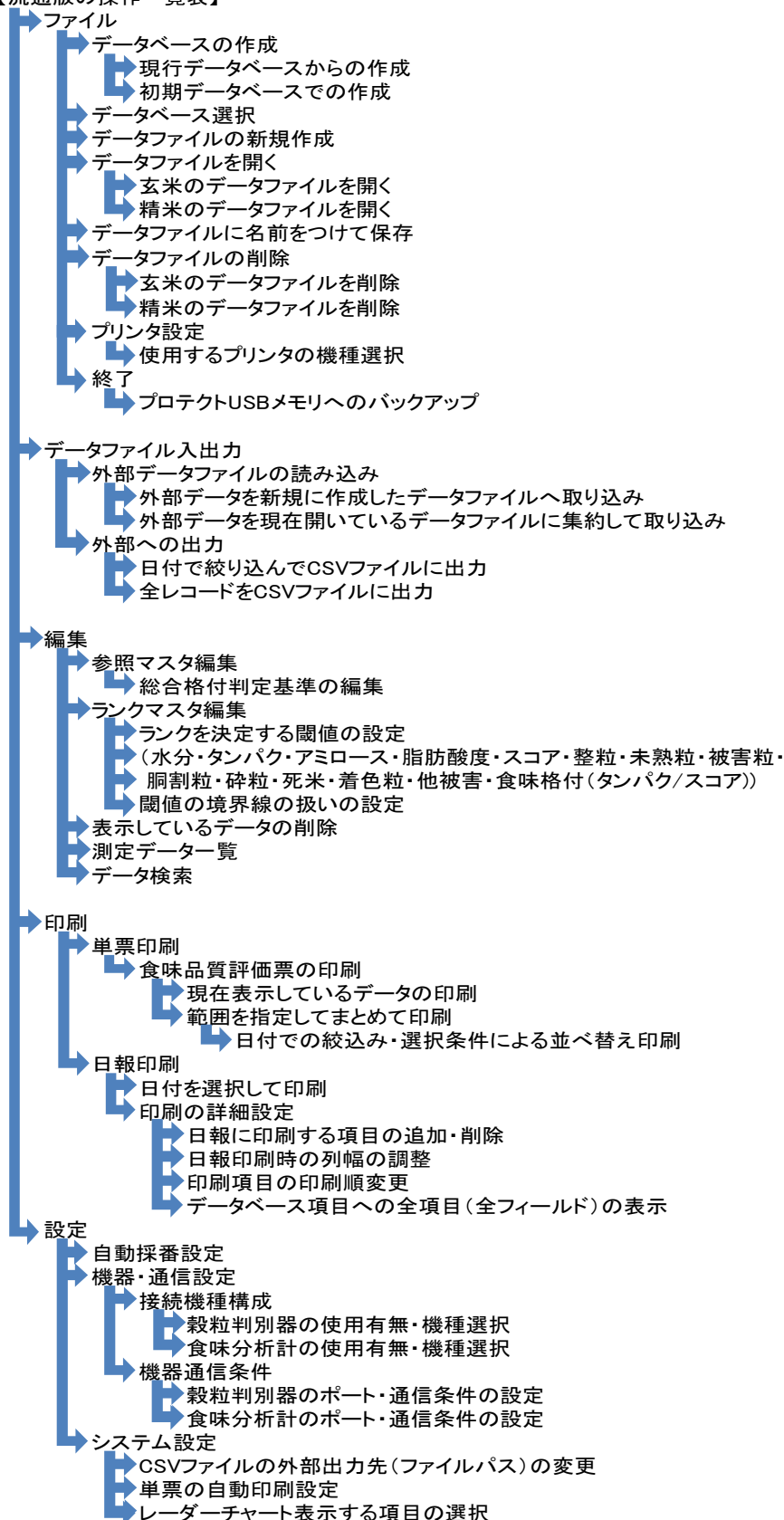
(3) 食味分析計版

【食味分析計版の操作一覧表】



(4) 流通版

【流通版の操作一覧表】



4. 画面設定

(1) GTRice の起動

パソコンのデスクトップ上にあるショートカットアイコン（GTRice）をダブルクリックします。
起動画面が立ち上がり、続いてメイン画面が表示されます。

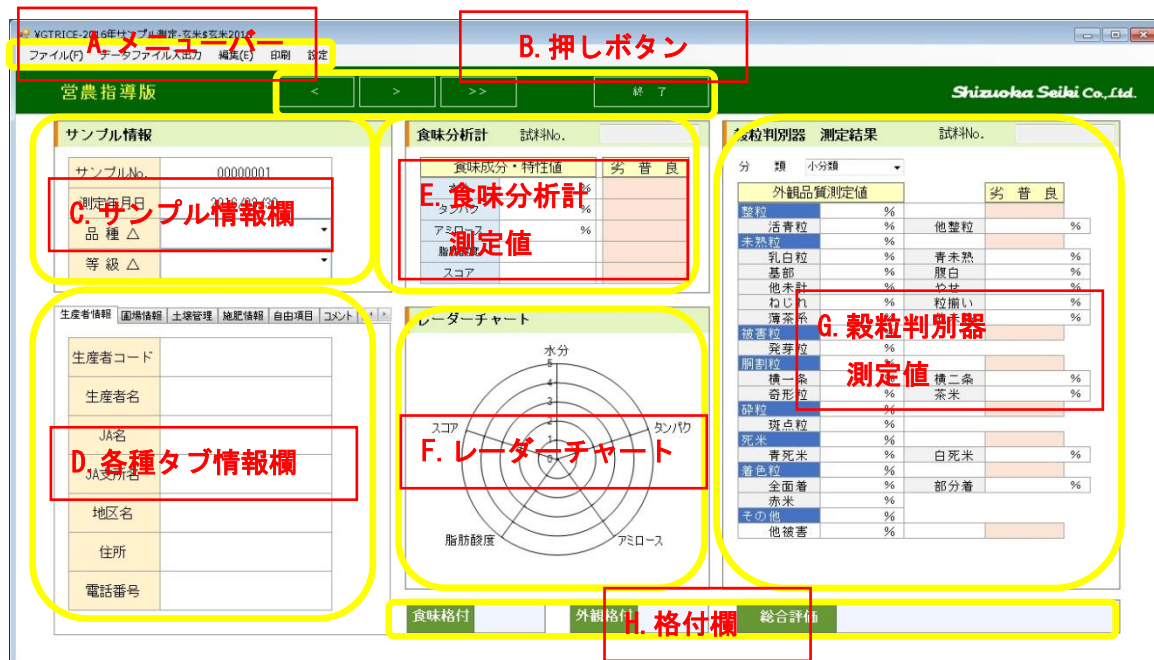
【起動画面】



【メイン画面】



【GTRice メイン画面の説明】



A. メニューバー：クリックしますと、項目別に操作を選択することが出来ます。

B. 押しボタン：クリックしますと、次に示す動作を実行します。

「<」: 1 つ前の測定データに戻ります。

「>」: 1 つ先のデータに進みます。(選択時に測定データの保存が行われます)

「>>」: 最後のデータへジャンプします。(測定データがある場合には、ジャンプ前にデータを保存するかの選択画面が表示されます。)

「終了」: GTRice を終了します。

C. サンプル情報欄: サンプルの情報に関する入力欄です。

D. 各種タブ情報欄: 生産者・圃場・土壌・施肥などの情報に関する入力欄です。

E. 食味分析計測定値: 食味分析計での測定値が表示されます。

手入力による測定値の変更も可能です。手入力操作した場合には、No. の箇所に赤い印が表示されます。

F. レーダーチャート: 各測定器の測定結果から判定したランクをレーダーチャートで表示します。

G. 穀粒判別器測定値: 穀粒判別器での測定値が表示されます。

手入力による測定値の変更も可能です。手入力操作した場合には、No. の箇所に赤い印が表示されます。

H. 格付欄: 測定器(食味分析計および穀粒判別器)の測定結果からの格付および総合格付を表示します。

(2) データベース・データファイルの作成

データベースおよびデータファイルを作成します。
現在のデータベースと分けた管理をしたい場合、
新しくデータファイルを作成したい場合には、
『6. 各メニューバーの項目説明』を参照してください。

(3) 測定条件設定

【ランク閾値の設定】

(メニューバー⇒編集⇒ランクマスタ編集)

各測定結果のランクを決めるための閾値を変更することができます。
変更するには、ランクマスタテーブルの編集画面を開きます。

- ①変更したい項目をクリックしますと、
右側にランクテーブルが表示されます。
- ②ランクテーブルの上限側の値を変更します。
- ③境界線の扱いを選択します。
- ④「閉じる」をクリックすると変更が完了します。

変更できるのは上限側の値のみになります。
上限の値を変更すると、設定完了時に下限の値も
自動的に変更されます。

メニューバーの「編集」をクリックします

①例として「水分」の項目をクリックします

②上限の値を変更します

NO	下限(≤)	上限(>)	ランク
1	無限小	14	1
2	14	145	3
3	145	156	5
4	156	16	3
5	16	無限大	1

境界線の扱い
 下限を含まず、上限含む
 下限含む、上限含まず

閉じる(○)

③「境界の扱い」を選択します

④「閉じる」をクリックします

【機器・通信の設定】

機器・通信の設定については、
[2] 機器・通信設定 (68 ページ) を参照。

【情報入力】

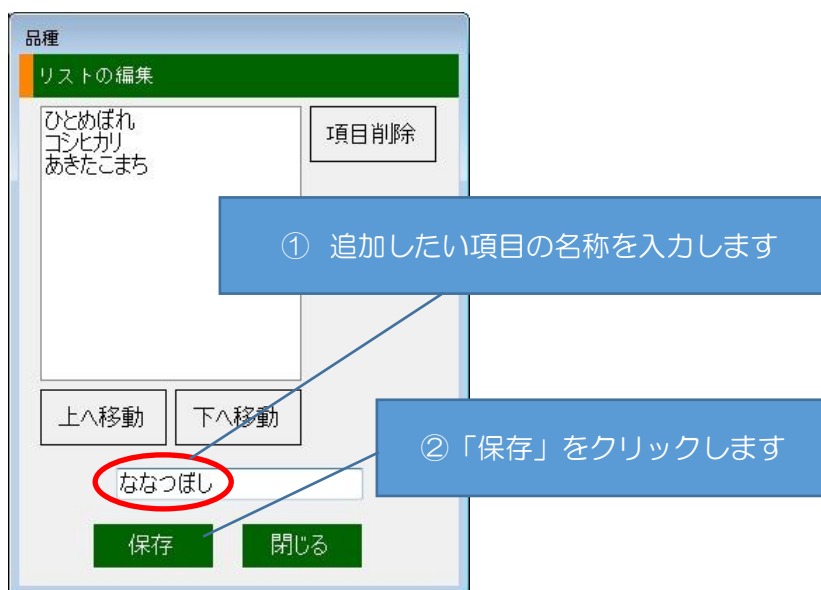
メイン画面において、サンプル情報・生産者などの情報を追加または削除することができます。

名称の後に△がついている項目は、
表示名欄（例えば、「品種△」や「等級△」など）を
ダブルクリックしますと、リストの編集画面が開き、
任意の項目を追加または削除できます。



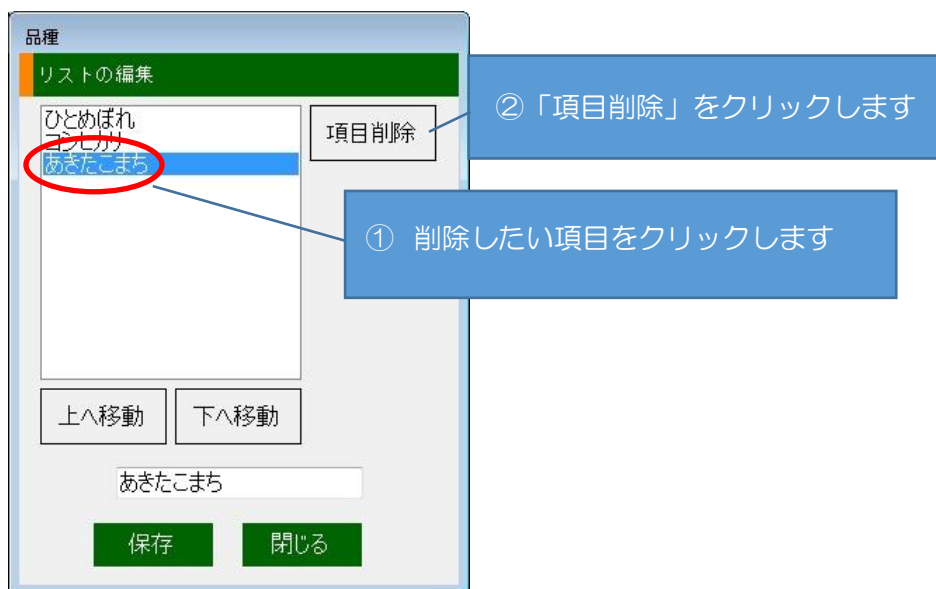
【項目追加】

項目リストに、新しく項目を追加することができます。



【項目削除】

リストに表示されている項目の中から、任意の項目を選択して削除することができます。



【各情報タブへの項目記入】

・生産者情報タブ

＜＜本機能は、「流通版」にはございません。＞＞

生産者に関する情報を登録することができます。

(メニューバー⇒編集⇒生産者マスタ編集)

生産者マスタに予め生産者情報を登録しておくこと、生産者コードの番号を入力するだけで、生産者マスタから登録情報を読み出すことができます。

(生産者情報を登録しますと、毎回手入力する手間を省けます。)

また、生産者コードはオプションのバーコードリーダーを使って入力することも可能です。

生産者情報	圃場情報	土壌管理	施肥情報	詳細予備1	コメント
生産者コード					
生産者名					
JA名					
JA支所名					
地区名					
住所					
電話番号					

生産者マスタテーブルの使用例を記します。
 生産者マスタテーブルに、予め図のような情報を登録しておきます。

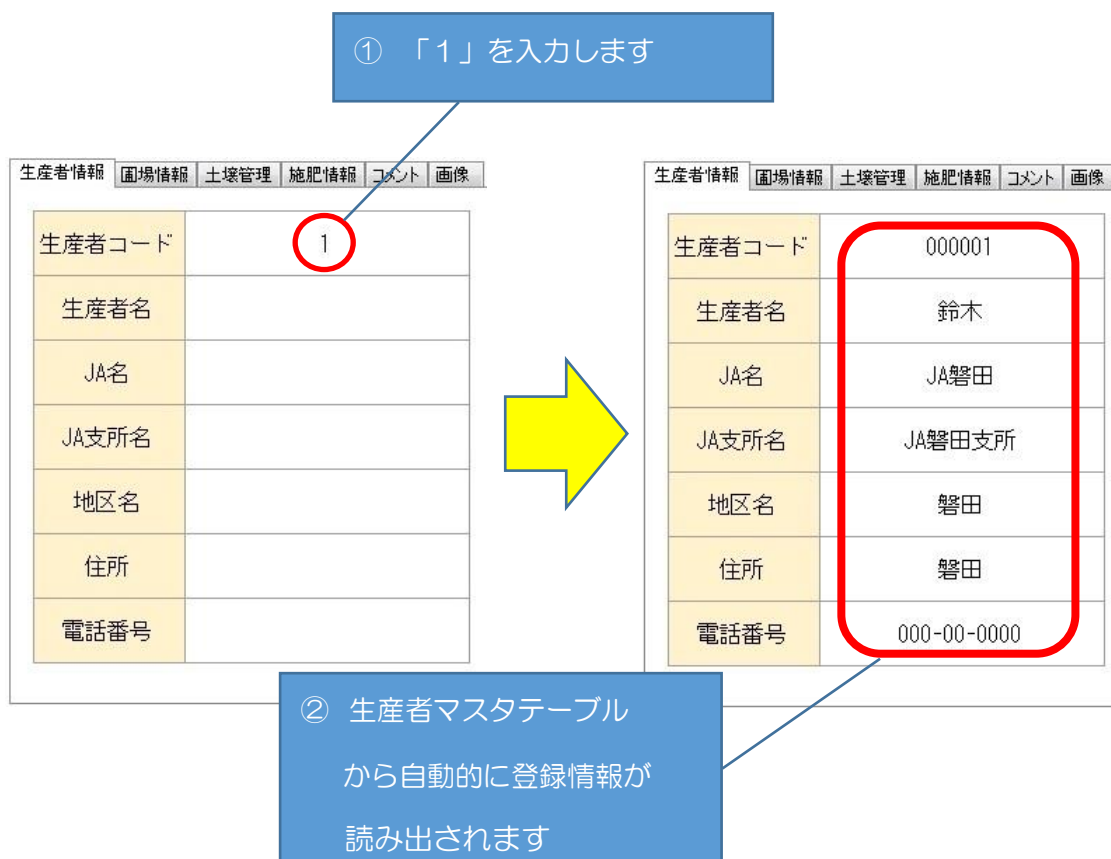
生産者マスタテーブル 編集

追加 削除 データ取込 データ出力

削	No	生産者コード	生産者名	JA名	JA支所名	地区名	住所	電話番号
	1	1	鈴木	JA磐田	JA磐田支所	磐田	磐田	000-00-0000
	2							
	3	3	田中	JA浜松	JA浜松支所	浜松	浜松	222-22-2222
	4	4						

戻る(C) 閉じる(C)

- ①生産者情報タブの「生産者コード」に「1」を入力します。
- ②生産者マスタテーブルに登録されている情報が即座に読み込まれます。



・流通玄米情報タブ

＜＜本機能は、「流通版」のみ有効です。＞＞

玄米の流通段階でよく使われる項目を登録しておくことができます。

流通玄米情報	
玄米ロットNo.	
仕入年月日	
仕入業者名△	▼
産地G △	▼
産年G △	▼
栽培区分 △	▼
備考I	
備考II	
備考III	

・流通精米情報タブ

＜＜本機能は、「流通版」のみ有効です。＞＞

精米の流通段階でよく使われる項目を登録しておくことができます。

流通精米情報	
精米ロットNo.	
精米年月日	
取引先名△	▼
産地S △	▼
産年S △	▼
製品名 △	▼
備考 i	
備考 ii	
備考 iii	
備考 iv	

・圃場情報タブ

＜＜本機能は、「営農指導版」のみ有効です。＞＞

圃場管理についての情報を登録しておくことができます。

生産者情報		圃場情報	土壌管理	施肥情報	詳細予備1	コメント
産年△						
収量						kg/10a
ほ場番号						
土壌群名△						
土改材名△						
土改材投入量						kg
稲葉処理△						
有機投入量						kg/10a
育苗様式△						
倒伏有無△						
栽植密度(cm)						cm
栽植密度(株/坪)						株/坪
病虫害△						
備考1						
備考2						
備考3						

育苗様式・栽植密度・病虫害の項目については、診断書コメントに関わる項目になります。
 診断書コメントを利用する場合は、予め項目を設定しておく必要があります。

診断書のコメントを参考にして営農指導することにより、お米の品質向上につなげることができます。

・ 土壤管理タブ

＜＜本機能は、「営農指導版」のみ有効です。＞＞

土壤管理についての情報を登録しておくことができます。

生産者情報	圃場情報	土壤管理	施肥情報	コメント	画像
心土破碎△		▼			
客 土					年
中 干 し△		▼			
透排水性△		▼			
移 植 日					
出 穂 日					
収 穫 日					
登熟日数					日
登熟温度					度
千 粒 重					g

透排水性および登熟温度の項目については、診断書コメントに関わる項目になります。
 診断書コメントを利用する場合は、予め項目を設定しておく必要があります。

診断書のコメントを参考にして営農指導することにより、お米の品質向上につなげることができます。

・施肥情報タブ

＜＜本機能は、「営農指導版」のみ有効です。＞＞

施肥についての情報を登録しておくことができます。

(メニューバー⇒編集⇒肥料マスタ編集)

肥料マスタに予め情報を登録しておくことで、

肥料を選択して、施肥量を入力すればN（窒素）・P（リン）・K（カリウム）の量が自動で算出されます。

生産者情報 圃場情報 土壤管理 施肥情報 詳細予備1 コメント						
月日	肥料名	施肥量 (kg)	N	P	K	
基肥	▼					
追肥1	▼					
追肥2	▼					
追肥3	▼					
追肥4	▼					
追肥5	▼					
合計						

窒素全量(Nの合計値)は、診断書コメントに関わる項目になりますので、診断書コメントを利用する場合はその項目を設定しておく必要があります。

診断書のコメントを参考にして栽培管理をすることにより、お米の品質向上につなげることができます。

- ・コメントタブ

ユーザーが気付いた点をコメントで記録できます。
ただし、記入できる文字数は最大 180 文字です。



The image shows a screenshot of a web application interface. At the top, there is a horizontal tab bar with several tabs: '生産者情報', '圃場情報', '土壌管理', '施肥情報', '詳細予備', and 'コメント'. The 'コメント' tab is currently selected and highlighted. Below the tabs is a large, empty text input area for writing a comment. The input area has a vertical scrollbar on the right side, indicating it can scroll vertically. The background of the input area is a light gray color.

- ・ 画像タブ

測定サンプルの画像ファイル(JPG 形式)を、保存することができます。



外部から JPEG 方式の画像ファイルを読み、保存できます。
読み込んだ画像をダブルクリックしますと、新しいウインドウが開き、拡大された画像が表示されます。

5. 測定データの表示・印刷・保存

(1) 測定結果の表示

接続機器からの測定結果をパソコンで受信し、GTRiceの画面に値を表示します。

接続機器から測定結果が送信されても GTRice の画面に表示されない場合は、トラブルシューティングの「(1) 測定器からのデータが表示されない (通信ができていない)」を参照してください。

(2) 測定結果の印刷

測定した結果を単票 (診断書または食味品質評価票) や日報として印刷することができます。

(メニューバー⇒印刷)



【単票の帳票印刷】

測定結果を診断書または食味品質評価票として、印刷することができます。

<診断書例> <<本機能は、「営農指導版」のみ有効です。>>

あなたのお米の診断結果

サンプル情報			
サンプルNo	000001	産名	刈曇田
測定年月日	2016/1/19	産所名	刈曇田支所
生産者コード	000001	品種	ひとめづれ
生産者名	鈴木 尊 様	等級	1等
産 年	H27年	土 産	心土栽培
収 穫	530 kg/10a	等 級	特 上
産地	3-1	栽培	水 灌
土壌診断	黄色土	選抜木性	良 肝
土壌診断	ケイ酸 10 Kg	採種日	2015/8/7
採種日	2015/5/10	収穫日	2015/9/15
稲葉乾燥	豊すまこお	収穫量	14.5 ton
青熟納入量	20 kg/10a	青熟率	91
青熟採寸	炭素	青熟日数	40 日
倒伏率	葉	受熱処理	1000 °C
備考1		干粒率	23.8 %
備考2			
備考3			

測定項目		データ	目標範囲	劣る	やや劣る	普通	やや良い	良い
水分	14.5 %	14.5-15.0%						☆
タンパク	7.5 %	7%以下					☆	☆
アミノ酸	19.0 %	18%以下					☆	☆
脂肪酸	22.0	18%以下			☆			
スコア	72.0	80以上					☆	☆

食味		データ	目標範囲	劣る	やや劣る	普通	やや良い	良い
整 粒	65.2 %	80以上					☆	☆
未熟粒	4.2 %	10%以下						☆
破砕粒	6.6 %	5%以下						☆
糊粉粒	11.1 %	3%以下			☆			
碎 粒	3.5 %	3%以下						☆
泡粒	0.1 %	5%以下						☆
花 米	9.2 %	5%以下						☆
着色粒	0.2 %	0%以下						☆

全 体 ランク		外 観 ランク	食 味 ランク
A		B	B

1分診断書からみた収量ポイントです。コストを参考にしたい米作りを進めてください。
 ※本報は良いお米ですが、外観がやや劣ります。外観品質の向上に努めてください。糊粉粒が多くなっています。刈り取り遅れや過乾燥に気をつけてください。

コメント

株式会社 営農指導システム

<食味品質評価票例>

<<「食味分析計版」には、食味品質評価票の印刷機能はございません>>

食味品質評価票【食味】

サンプル情報			
サンプルNo	00000001	産名	刈曇田
測定年月日	2016/01/19	産所名	刈曇田支所
生産者コード	000001	品種	ひとめづれ
生産者名	鈴木 尊 様	等級	1等

測定項目		データ	目標範囲	劣る	やや劣る	普通	やや良い	良い
水分	14.5 %	14.5-15.0%						☆
タンパク	7.5 %	7%以下					☆	☆
アミノ酸	19.0 %	18%以下					☆	☆
脂肪酸	22.0	18%以下			☆			
スコア	72.0	80以上					☆	☆

食味格付 **A**

測定項目		データ	目標範囲	劣る	やや劣る	普通	やや良い	良い
整 粒	65.2 %	80以上				☆	☆	☆
未熟粒	4.2 %	10%以下						☆
破砕粒	6.6 %	5%以下						☆
糊粉粒	11.1 %	3%以下			☆			
碎 粒	3.5 %	3%以下						☆
泡粒	0.1 %	5%以下						☆
花 米	9.2 %	5%以下						☆
着色粒	0.2 %	0%以下						☆

外観格付 **B**

総合評価 **B**

帳票は範囲指定印刷を選択しますと、日付でのデータの絞り込みができます。また並べ替え順(生産者情報タブの項目)の項目を選択しますと、選択した項目で並べ替え印刷することができます。



【例】2015年に生産者コード No. 00000001~00000003 までのデータが順不同で入っている場合、日付を「2015/9/1~2015/9/30」に指定し、並べ替え順を「生産者コード」にした例を記します。

測定時期が2015年9月1日~2015年9月30日の期間に該当する測定データを、生産者コード No. 00000001 から順に印刷することができます。

〈上記例の印刷順番〉

- ① 生産者コード No. 00000001、2015年9月1日~2015年9月30日間のデータを全て印刷します。
- ② 生産者コード No. 00000002、2015年9月1日~2015年9月30日間のデータを全て印刷します。
- ③ 生産者コード No. 00000003、2015年9月1日~2015年9月30日間のデータを全て印刷します。

【日報印刷】

測定したデータを日付単位で一覧表印刷することができます。

日報に印刷する項目を追加・削除および印刷項目の列幅を調整する場合には、日報印刷画面の右上にある「詳細設定」ボタンをクリックします。

「全フィールド表示」ボタンをクリックしますと、詳細項目が表示されます。必要に応じて項目の追加・削除することができます。

【印刷項目の追加】

② 「追加」をクリックします

① 追加したい項目をクリックします

③ 「保存」をクリックします。

③ 「閉じる」をクリックします

※変更後、「保存」をクリックしないと変更が反映されませので
変更したい場合には必ず「保存」をクリックしてから「閉じる」
をクリックしてください。

【印刷項目の削除】

① 削除したい項目
をクリックします

② 「削除」を
クリックします

③ 「保存」をクリックします

④ 「閉じる」をクリックします

GTRice
データを保存しました
OK

※変更後、「保存」をクリックしないと変更が反映されませので
変更したい場合には必ず「保存」をクリックしてから「閉じる」
をクリックしてください。

【印刷時の列幅の調整】

印刷一覧データ編集

データベース項目

印刷項目名

サンプル表示

① マウスを使い、セル間の境界線にカーソルを合わせます。

② カーソル表示が「⇔」に変わりますので、左右にドラッグして列幅を調整してください。
※ドラッグとは・・・マウスをクリックした状態のまま移動させることです。

保存(A)

閉じる(C)

③ 「保存」をクリックします

④ 「閉じる」をクリックします



※変更後、「保存」をクリックしないと変更が反映されませので変更したい場合には必ず「保存」をクリックしてから「閉じる」をクリックしてください。

<日報例>

測定日報一覧表

サンプルNo.	測定年月日	生産者コード	生産者名	品種	等級	水分	タンパク	アミロース	脂肪酸度	食味格付	スコア	総合評価
00000001	2015/11/24	000001	鈴木	ひとめぼれ	2等	15.0	7.0	11.0	22	S	88	S
00000002	2015/11/24	000002	山田	コシヒカリ	1等	14.0	8.0	33.0	11	A	77	A
00000003	2015/11/24	000003	田中	あきたこまち	1等	16.0	6.0	20.0	33	S	77	S
00000004	2015/11/24	000001	鈴木	ひとめぼれ	2等	15.0	7.0	11.0	22	S	88	S
00000005	2015/11/24	000002	山田	コシヒカリ	1等	14.0	8.0	33.0	11	A	77	A
00000006	2015/11/24	000003	田中	あきたこまち	1等	16.0	6.0	20.0	33	S	77	S
00000007	2015/11/24	000001	鈴木	ひとめぼれ	2等	15.0	7.0	11.0	22	S	88	S
00000008	2015/11/24	000002	山田	コシヒカリ	1等	14.0	8.0	33.0	11	A	77	A
00000009	2015/11/24	000003	田中	あきたこまち	1等	16.0	6.0	20.0	33	S	77	S
00000010	2015/11/24	000001	鈴木	ひとめぼれ	2等	15.0	7.0	11.0	22	S	88	S
00000011	2015/11/24	000002	山田	コシヒカリ	1等	14.0	8.0	33.0	11	A	77	A
00000012	2015/11/24	000003	田中	あきたこまち	1等	16.0	6.0	20.0	33	S	77	S
00000013	2015/11/24	000001	鈴木	ひとめぼれ	2等	15.0	7.0	11.0	22	S	88	S
00000014	2015/11/24	000002	山田	コシヒカリ	1等	14.0	8.0	33.0	11	A	77	A
00000015	2015/11/24	000003	田中	あきたこまち	1等	16.0	6.0	20.0	33	S	77	S
00000016	2015/11/24	000001	鈴木	ひとめぼれ	2等	15.0	7.0	11.0	22	S	88	S
00000017	2015/11/24	000002	山田	コシヒカリ	1等	14.0	8.0	33.0	11	A	77	A
00000018	2015/11/24	000003	田中	あきたこまち	1等	16.0	6.0	20.0	33	S	77	S
00000019	2015/11/24	000001	鈴木	ひとめぼれ	2等	15.0	7.0	11.0	22	S	88	S
00000020	2015/11/24	000002	山田	コシヒカリ	1等	14.0	8.0	33.0	11	A	77	A
00000021	2015/11/24	000003	田中	あきたこまち	1等	16.0	6.0	20.0	33	S	77	S
00000022	2015/11/24	000001	鈴木	ひとめぼれ	2等	15.0	7.0	11.0	22	S	88	S
00000023	2015/11/24	000002	山田	コシヒカリ	1等	14.0	8.0	33.0	11	A	77	A
00000024	2015/11/24	000003	田中	あきたこまち	1等	16.0	6.0	20.0	33	S	77	S
00000025	2015/11/24	000001	鈴木	ひとめぼれ	2等	15.0	7.0	11.0	22	S	88	S
00000026	2015/11/24	000002	山田	コシヒカリ	1等	14.0	8.0	33.0	11	A	77	A
00000027	2015/11/24	000003	田中	あきたこまち	1等	16.0	6.0	20.0	33	S	77	S
00000028	2015/11/24	000001	鈴木	ひとめぼれ	2等	15.0	7.0	11.0	22	S	88	S
00000029	2015/11/24	000002	山田	コシヒカリ	1等	14.0	8.0	33.0	11	A	77	A
00000030	2015/11/24	000003	田中	あきたこまち	1等	16.0	6.0	20.0	33	S	77	S

(3) 測定データの保存

測定結果表示画面に表示される「>」（表示データの切替）をクリックしますと、測定データを保存することができます。
 また、未登録の測定データがある場合や保存済のデータを編集した場合には、「<」や「>>」をクリックしますと、データを保存して更新するか選択のメニューが表示されます。



6. 各メニューバーの項目説明

(1) ファイル

現在のデータベースと分けた管理をしたい場合、新しくデータファイルを作成したい場合には、下記の手順で作成してください。

[1] データベースの作成

(メニューバー⇒ファイル⇒データベースの作成)

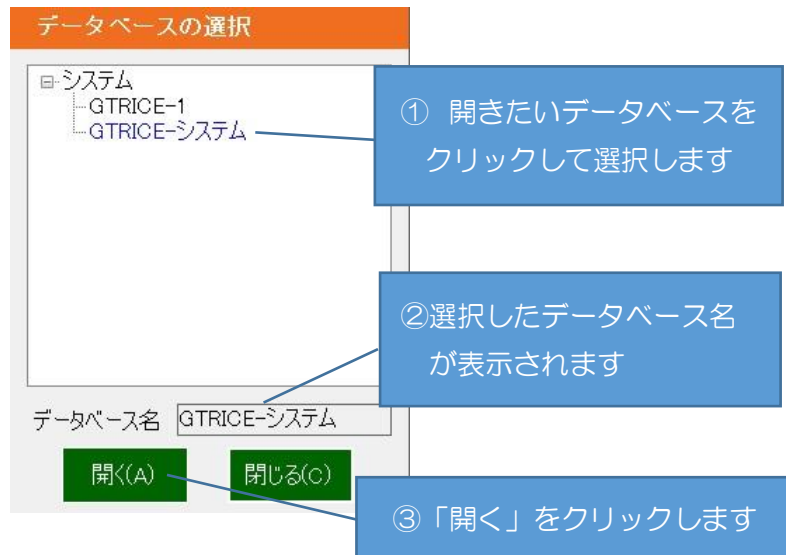
- ①新規作成するには、新しいシステム名（データベース名称）を入力します。
- ②作成元（現行データベース or 初期データベース）を選択し、「作成」をクリックしてください。
新しいデータベースが作成されます。



作成元に「現行データベース」を選択しますと、
現在 GTRice で開いているデータベースの設定をコピーして、
新しいデータベースを作成することができます。
「初期データベース」を選択しますと、新しいデータベース
を作成することができます。

[2] データベース選択

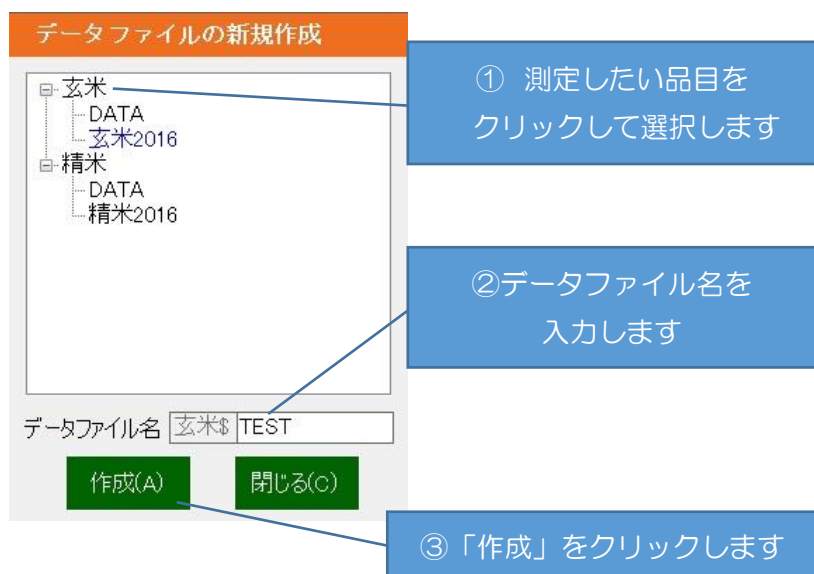
「データベースの作成」において既に作成したデータベースを、一覧の中から選択して開くことができます。



[3] データファイルの新規作成

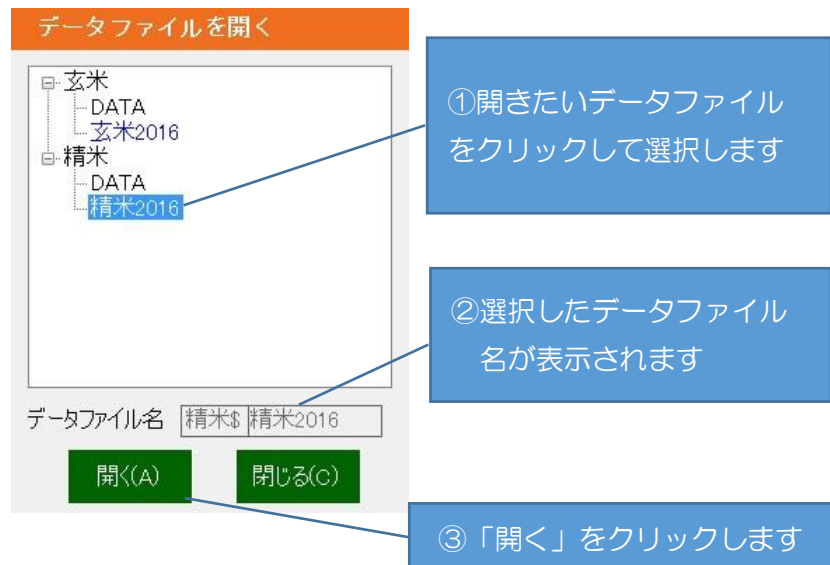
現在開いているデータベースと同じ設定で、データファイルだけを分けて管理したい場合には、新しくデータファイルを作ることができます。

- ① 測定したい品目（玄米・精米）を選択します。
- ② データファイル名を入力し。
- ③ 「作成」をクリックします。



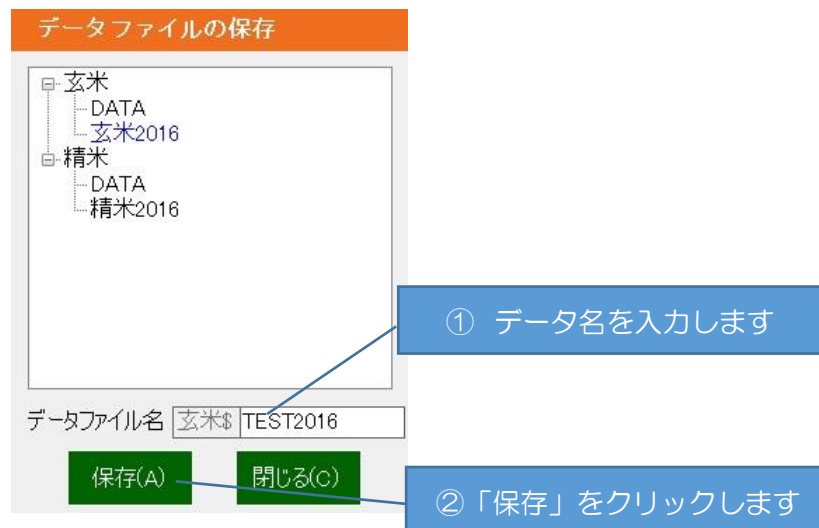
[4] データファイルを開く

「データファイルの新規作成」で作成した既存のデータファイルを、一覧の中から選択して開くことができます。



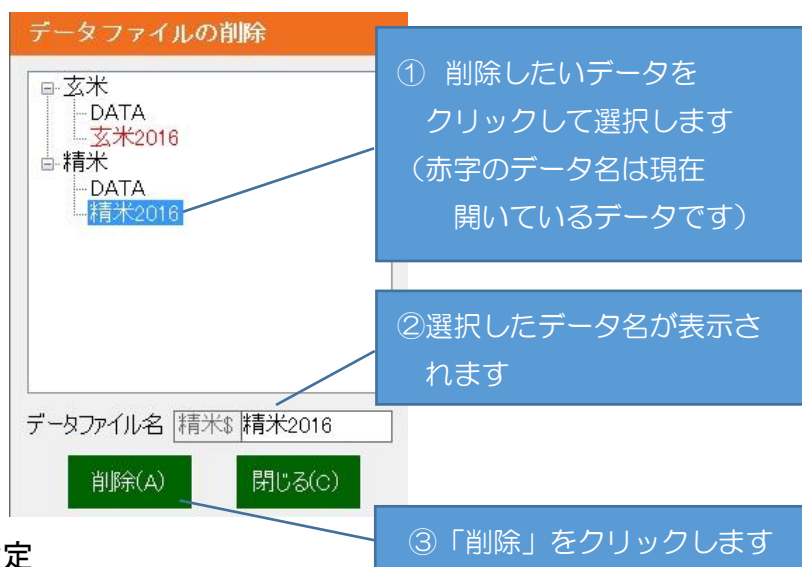
[5] データファイルに名前をつけて保存

現在開いているデータファイル名の名前を変え、別名で保存することができます。



[6] データファイルの削除

既に作成したデータファイルを、一覧の中から選んで削除できます。ただし、開いているデータファイルの削除はできません。



[7] プリンタ設定

印刷に使用するプリンタを選択できます。



[8] 終了

GTRice を終了します。

また、「実行」をクリックしますと、終了直前に開いていたデータベースのデータをプロテクトキー用 USB メモリ内にバックアップします。

プロテクト用 USB メモリ内にバックアップできるのは、終了時に開いていたデータベースに含まれるデータだけです。
 (※データ量が多い場合、保存に時間がかかってしまうため、「USB メモリへの画像保存」の項目を選択した場合のみ画像タブの画像ファイルが保存されます。また USB メモリには他のデータベースに保持されているデータは保存されません。)メモリ内に保存されていた古いバックアップデータは上書きされますので、ご注意願います。

データベースに保存されているデータ量が多くなってくると、プロテクト用 USB メモリへの保存にかかる時間が長くなってきますので、適宜データベースを新しく作り直してください。

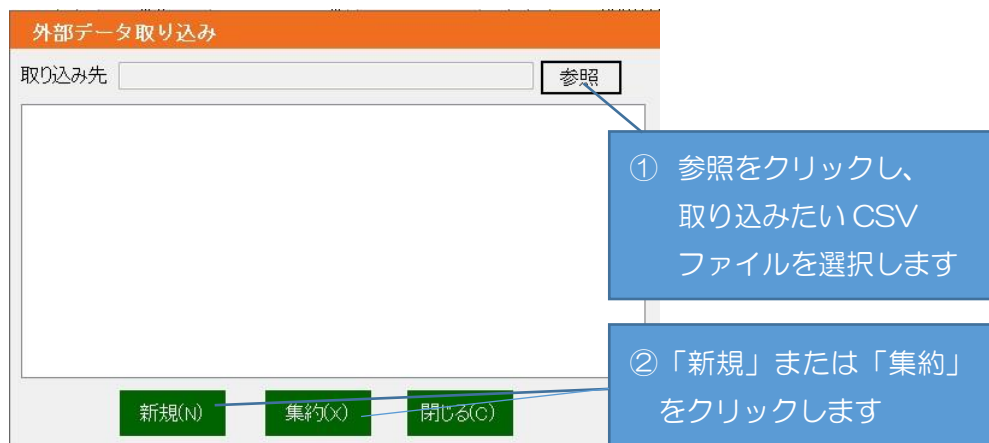


(2) データファイル入出力

[1] 外部データファイルの読み込み

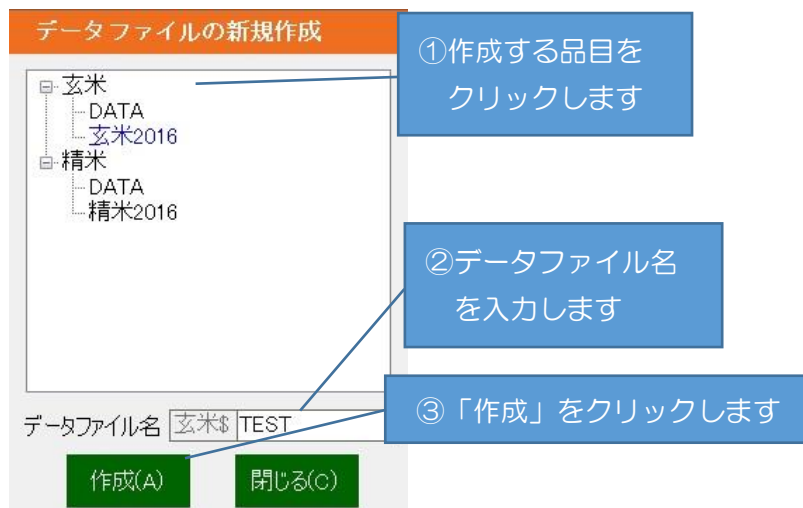
データフォーマットの一致する CSV ファイルデータを GTRice に読み込むことができます。

データを読み込みたい CSV ファイルを選択し、「新規」または「集約」を選択します。



【新規】

読み込んだ CSV ファイルのデータを、新しいデータファイル名で保存します。



フォーマット（表示名や項目の有無など）が異なっている場合にはデータを取り込むことはできません。
フォーマットを合わせてから取り込む必要があります。

【集約】

現在開いているデータファイルに、読み込んだ GSV ファイルデータを追加します。

データを集約する場合、サンプル No. が重複しているデータは取り込んで集約することができません。
複数の場所で測定した測定データを 1 箇所まとめて集約管理する必要がある場合（サンプル No. の重複を避けるなど）に、便利な機能です。

【注：複数個所からのデータを集約する場合の運用方法】

サンプル No. の上位桁を、測定場所固有の番号として割り当てることで、データ集約の際にサンプル No. が重複しないようにすることができます。

（測定を開始するサンプル No. は、設定⇒自動採番設定の項目にて、変更できます。）

〈複数個所からデータを集約する場合の運用例〉

各測定場所のサンプル No. を下記の値から開始するようにします。

- ・本部（データ集約先）のサンプル No. : 00000001～
- ・支所 A のサンプル No. : 10000001～
- ・支所 B のサンプル No. : 20000001～
- ・支所 C のサンプル No. : 30000001～

測定開始前に、メニューバーの「設定⇒自動採番設定」において、支所 A は No. 10000001、支所 B は No. 20000001、支所 C は No. 30000001、に値を変更してから測定を開始します。

[2] 外部への出力

現在開いているデータファイルの測定結果を、「日付」または「全て」を選択後、指定した保存先のファイルに出力することができます。

外部出力

出力方式

日付絞込み 全レコード

2016/01/16

2016/01/17

2016/01/18

2016/01/19

対象日付

保存先

保存ファイル名

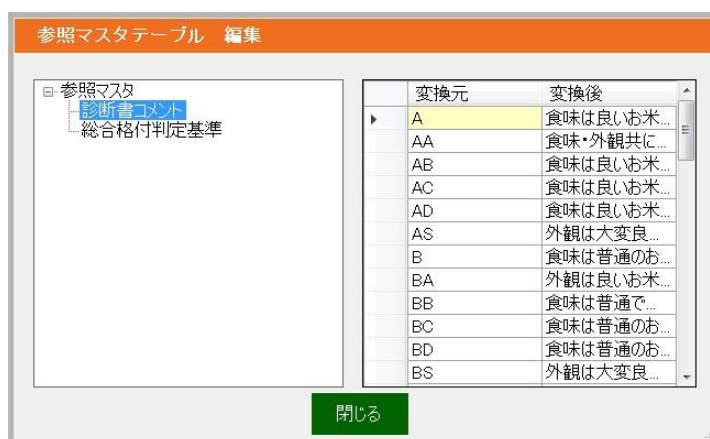
(3) 編集 (各種マスタ)

[1] 参照マスタ編集

診断書のコメント内容や総合格付判定の結果の項目内容を変更することができます。

(ただし、「変換元」の項目内容は変更できません。)

※診断書のコメントの決定の仕組みについては、
「7. 診断書のコメント表示」を参照してください。



診断書のコメント (※「営農指導版」のみ) の内容は、測定結果および肥料などの入力データに基づいて表示内容を決定しています。大幅にコメント内容を変更した場合、実際の測定データと表示されるコメントの間の関連性が失われる恐れがありますので、ご注意ください。
ウィンドウを拡大するとコメント内容全体が見えるようになり、見やすくすることができます。

総合格付判定は、メイン画面の「食味格付」、「外観格付」から「総合評価」を決定します。デフォルト設定では、「食味格付」、「外観格付」のうちの評価の低いほうが「総合評価」に反映されます。(欠点格下げ法を採用しています)
(格付の評価は、評価の良いほうから順に「S > A > B > C > D」の5段階評価になっています。
例えばデフォルトでは、「食味格付」=「A」、「外観格付」=「C」の場合には、「総合評価」は「C」となります。

ただし、「総合格付判定基準」の判定を変更することができます。
 例えば、「食味格付」=「A」、「外観格付」=「C」の場合には、「変換元」=「AC」、「変換後」=「C」となっています。
 ここで、「変換後」データを「B」に変更しますと、「総合評価」は「B」に変わります。(下図参照)

参照マスターテーブル 編集

参照マス
 診断書コメント
 総合格付判定基準

食味格付「A」、
 外観格付「C」のときの
 総合評価が「C」
 に設定されている

変換元	変換後
A	A
AD	D
AC	C
AB	B
AA	A
AS	A
S	S
SD	D
SC	C
SB	B
SA	A
SS	S

閉じる

参照マスターテーブル 編集

参照マス
 診断書コメント
 総合格付判定基準

① 食味格付「A」、
 外観格付「C」のときの
 総合評価を「B」
 に変更する

変換元	変換後
A	A
AD	D
AC	B
AB	B
AA	A
AS	A
S	S
SD	D
SC	C
SB	B
SA	A
SS	S

② 「閉じる」を
 クリックすると、
 設定が反映されます

閉じる

[2] 生産者マスタ編集

＜＜本機能は、「流通版」にはございません＞＞

生産者コードと連動して、生産者情報のタブに表示するためのリスト情報を編集することができます。

編集の方法には下記2つの方法があります。

I. 手入力での編集

II. 外部の CSV ファイルからのデータ取込

また、現在のリスト情報を CSV ファイルで外部出力(データ出力)することも可能です。

CSV ファイルからのデータ取込をする場合、現在のリストに「上書き」されますのでご注意ください。
(現在の生産者マスタテーブルに表示されているデータの末尾に追加されるわけではありません。)
また CSV フォーマットが異なる場合には、データ取込できません。

フォーマットが異なる場合は、下記手順でデータ取込してください。

- ①一旦現在の生産者マスタリストをデータ出力の項目から、CSV ファイル形式で外部出力します。
- ②外部出力した CSV ファイルを開いて、該当する項目に対して取り込みたいファイルのデータをコピーして編集します。
- ③編集が終わった CSV ファイルを、データ取込で取り込みます。

【CSV フォーマットが異なる場合のインポート例】

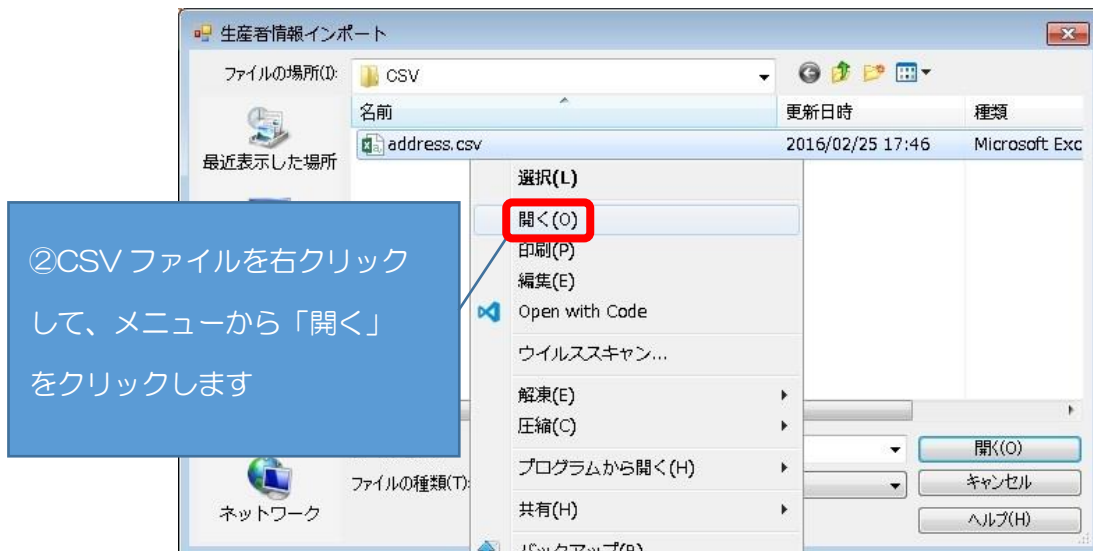
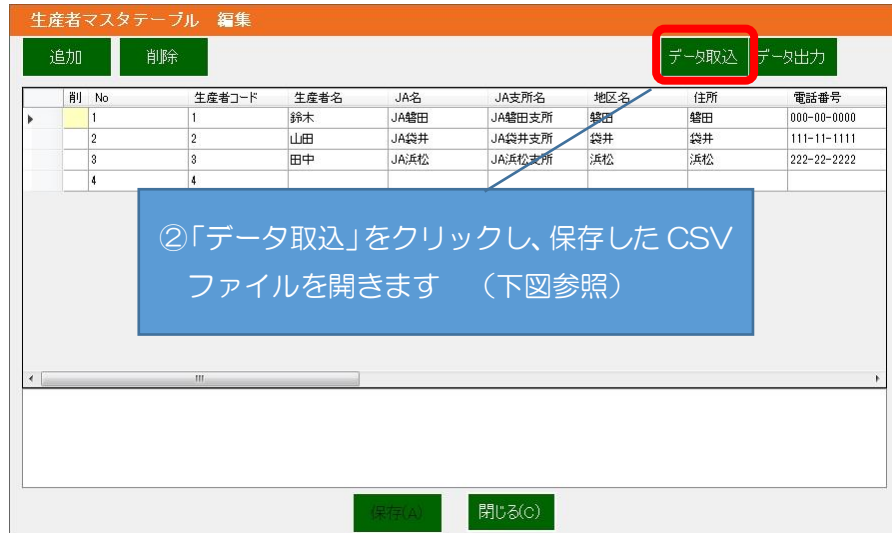
生産者マスタテーブル 編集

追加 削除 データ取込 データ出力

前	No	生産者コード	生産者名	JA名	JA支所名	地区名	住所	電話番号
	1	1	鈴木	JA磐田	JA磐田支所	磐田	磐田	000-00-0000
	2	2	山田	JA袋井	JA袋井支所	袋井	袋井	111-11-1111
	3	3	田中	JA浜松	JA浜松支所	浜松	浜松	222-22-2222
	4	4						

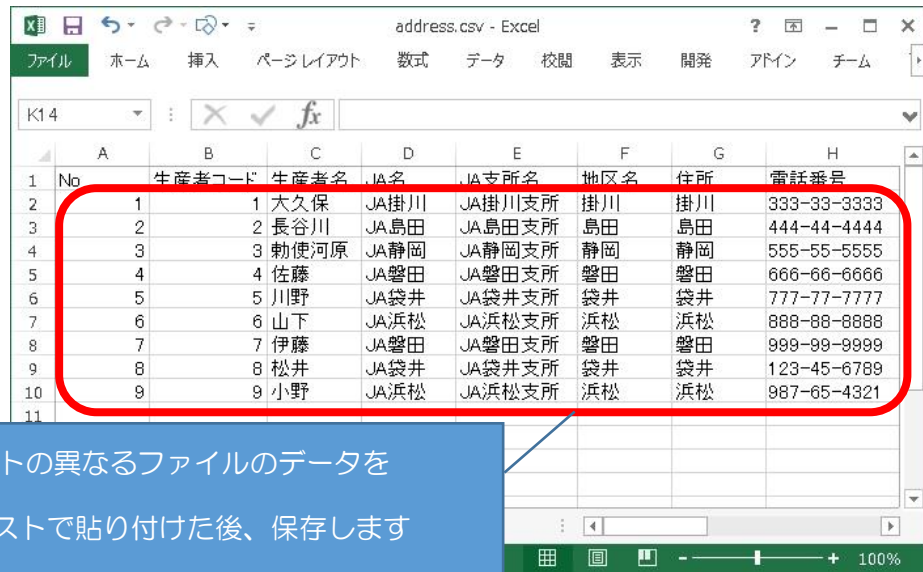
①「データ出力」をクリックし、現在の生産者マスタリストを CSV ファイルで外部出力します

戻る(←) 閉じる(○)

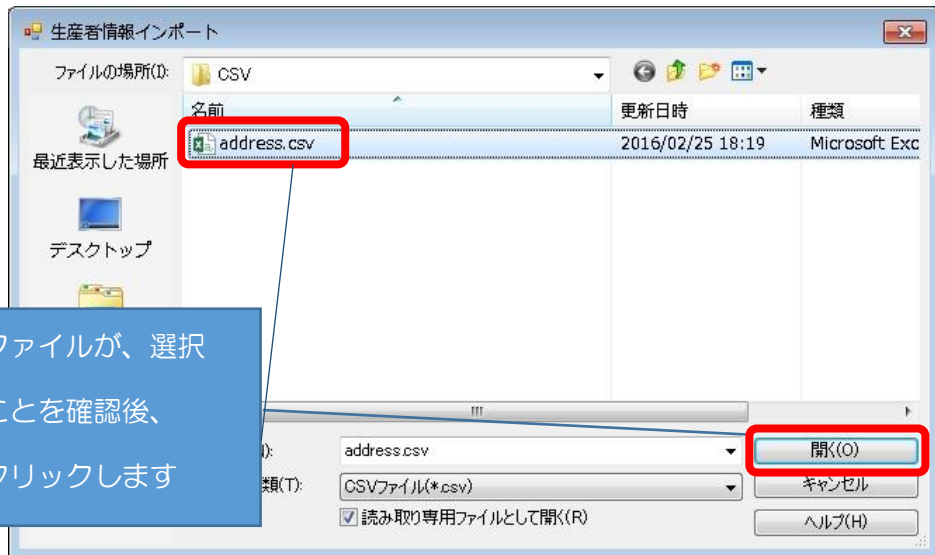


選択された CSV ファイルが開きます





③フォーマットの異なるファイルのデータを
コピー&ペーストで貼り付けた後、保存します



③保存したファイルが、選択
されていることを確認後、
「開く」をクリックします



④生産者マスタにデータが
取り込まれますので、
「保存」をクリックします

【手入力で項目を追加する場合】

①追加するための行が足りない場合には、「追加」にて行を追加します

削	No	生産者コード	生産者名	JA名	JA支所名	地区名	住所	電話番号
	1	1	鈴木	JA轄田	JA轄田支所	轄田	轄田	000-00-0000
	2	2	山田	JA袋井	JA袋井支所	袋井	袋井	111-11-1111
	3	3	田中	JA浜松	JA浜松支所	浜松	浜松	222-22-2222
	4							

②生産者コード等の情報を入力します

③入力後、「保存」をクリックします

【手入力で項目を削除する場合】

②削除をクリックしますと、削除したい項目に「削」マークが付きます

削	No	生産者コード	生産者名	JA名	JA支所名	地区名	住所	電話番号
	1	1	鈴木	JA轄田	JA轄田支所	轄田	轄田	000-00-0000
	2	2	山田	JA袋井	JA袋井支所	袋井	袋井	111-11-1111
削	3	3	田中	JA浜松	JA浜松支所	浜松	浜松	222-22-2222

①削除したい項目を選択します

③「保存」をクリックしますと削除されます

削除したい項目を選択して、ダブルクリックしても、「削」マークを付けることができます。再度ダブルクリックしますと一旦付けた「削」マークを取り消すこともできます。削除したい項目が複数ある場合は、上記①②の工程を繰り返すか、項目毎にダブルクリックを繰り返して、「削」マークを複数個所につけ、まとめて削除することができます。

[3] 肥料マスタ編集

<<本機能は、「営農指導版」のみ有効です。>>

肥料マスタテーブルに表示する肥料を、追加・削除することができます。

【項目を追加する場合】

肥料マスタテーブル 編集

追加 削除

①追加を押して、行を追加します

削	No	肥料名	N	P	K	基肥比率	追肥比率
	1	元肥1号	14	20	12	100	100
	2	元肥2号	10	24	16	100	100
	3	基肥1号	15	5	15	100	100
	4	基肥2号	15	5	15	100	100
	5	硫安	21	0	0	100	100
	6	尿素	46	0	0	100	100
	7	塩安	25	0	0	100	100
	8	過燐酸石灰(粒)	0	17	0	100	100
	9	塩化加里	0	0	60	100	100
	10	珪酸加里	0	0	20	100	100
	11	LPS775	17	17	15	60	40
	12	エムコート777	17	17	17	40	60
	13	セラコートワン777	15	15	15		
	14	ユーコート早生	16	16	16		
	15	有機ユーコート282	13	8	12		
	16	ハイセラコート	20	12	14		

②入力後、「保存」をクリックします

保存(A) 閉じる(C)

【項目を削除する場合】

肥料マスタテーブル 編集

追加 削除

②削除をクリックしますと、削除したい項目に「削」マークがつきます

削	No	肥料名	N	P	K	基肥比率	追肥比率
	1	元肥1号	14	20	12	100	100
	2	元肥2号	10	24	16	100	100
	3	基肥1号	15	5	15	100	100
	4	基肥2号	15	5	15	100	100
	5	硫安	21	0	0	100	100
	6	尿素	46	0	0	100	100
	7	塩安	25	0	0	100	100
	8	過燐酸石灰(粒)	0	17	0	100	100
	9	塩化加里					100
	10	珪酸加里					100
	11	LPS775	17	17	15	60	40
	12	エムコート777	17	17	17	40	60
	13	セラコートワン777	15	15	15		
削	14	ユーコート早生	16	16	16		
	15	有機ユーコート282	13	8	12		
	16	ハイセラコート	20	12	14		

①削除したい項目を選択します

③「保存」をクリックすると削除されます

保存(A) 閉じる(C)

削除したい項目を選択して、ダブルクリックしても、「削」マークを付けることができます。再度ダブルクリックしますと一旦付けた「削」マークを取り消すこともできます。削除したい項目が複数ある場合は、上記①②の工程を繰り返すか、項目毎にダブルクリックを繰り返して、「削」マークを複数個所につけ、まとめて削除することができます。

【肥料マスタ編集の項目について】

- ・ N/P/K
それぞれ肥料 100kg あたりに含まれている N（窒素）、P（リン）、K（カリウム）の含有量（kg）になります。
- ・ 基肥比率/追肥比率
それぞれ基肥として追加された場合、追肥として追加された場合に効果を示す割合を示しています。

基肥比率・追肥比率が 100（%）の肥料は速効性の肥料です。基肥・追肥のいずれかを使用したタイミングだけで、100（%）の N/P/K 効果を示すものになります。これに対し、基肥比率と追肥比率の合計値が 100（%）のものは、基肥として投入すると、基肥としても追肥としてもそれぞれ一定の割合（基肥比率および追肥比率の割合）で N/P/K 効果を示す緩効性の肥料になります。

[4] ランクマスタ編集

各測定器で測定した成分のランクを決定するための閾値などを変更することができます。

また、境界線の扱いについても選択することができます。

ランクマスタテーブル 編集

成分	NO	下限(≤)	上限(>)	ランク
水分	1	無限小	14	1
タンパク	2	14	14.5	3
アミロース	3	14.5	15.6	5
脂肪酸度	4	15.6	16	3
スコア	5	16	無限大	1

境界線の扱い

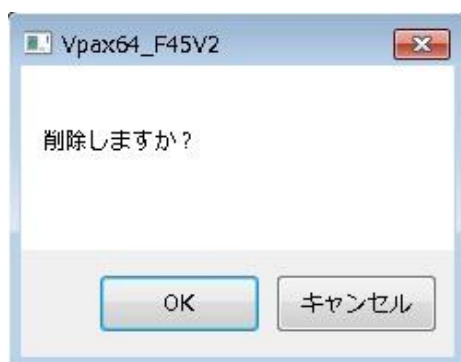
下限を含まず、上限含む

下限含み、上限含まず

閉じる(C)

[5] 表示しているデータの削除

現在 GTRice 画面に表示している 1 個の測定データを削除できます。



測定データは測定をやり直すことで、上書きすることもできますが、間違えたデータが残っているような場合などに削除することもできます。データを削除したことにより、次に測定したいサンプル No. にズレが生じた場合には、(メニューバー⇒設定⇒自動採番設定) で次に測定するサンプル No. を指定してください。

[6]一覽削除

現在 GTRice 画面に表示している測定データだけでなく、開いているデータ(ファイル)の中から複数項目を選択して削除することができます。

The screenshot shows the 'Table Overview' (テーブル一覧) screen in GTRice. At the top, there are radio buttons for '表示No' (selected) and 'サンプルNo', followed by a text input field containing '0' and a green '更新' (Update) button. To the right are green navigation buttons for '<' and '>'. Below this is a table with columns: '削' (Delete), 'No', 'サンプルNo.', '測定年月日', '食味サンプルID', '外観サンプルID', '生産者コード', '画像', and '外'. The table contains data for sample numbers 31 down to 18. A blue callout box with a white background and a blue border contains the text: '① 削除したい項目を選択してダブルクリックすると「削」マークが付きます'. A second blue callout box contains the text: '② 「保存」をクリックすると削除が実行されます'. At the bottom of the screen, there are two green buttons: '削除' (Delete) and '閉じる' (Close).

削	No	サンプルNo.	測定年月日	食味サンプルID	外観サンプルID	生産者コード	画像	外
	31	00000031	2015/11/24					
削	30	00000030	2015/11/24			000003		
	29	00000029	2015/11/24			000002		
削	28	00000028	2015/11/24			000001		
	27	00000027	2015/11/24			003		
削	26	00000026	2015/11/24			002		
	25	00000025	2015/11/24			001		
	24	00000024	2015/11/24			003		
	23	00000023	2015/11/24			002		
	22	00000022	2015/11/24			001		
	21	00000021	2015/11/24			000003		
	20	00000020	2015/11/24					
削	19	00000019	2015/11/24					
	18	00000018	2015/11/24					

【一覽削除の手順】

削除したいデータの「削」項目セルにおいて、ダブルクリックしますと「削」のマークが表示されて、削除対象となります。削除したいデータに「削」マークをつけてから「削除」をクリックしますと、複数のデータを一度に削除できます。

一度付いた「削」マークは、再度ダブルクリックしますと取り消すことができます。

測定データ一覧の各ページに表示できる測定データ数は、20個です。

「<」ボタン：前のページへ移動（20データ分戻る）します。

「>」ボタン：次のページへ移動（20データ分進む）します。

表示 No. もしくはサンプル No. を選択してから、番号を手入力し、「更新」ボタンをクリックしますと、指定した番号のデータにジャンプできます。

[7] データ検索



データ検索

サンプルNo.

検索 閉じる

サンプル No. に番号を手入力後、「検索」ボタンをクリックしますと、指定した番号の測定データにジャンプできます。

(4)印刷（測定結果の印字）

[1]単票印刷

現在 GTRice 画面に表示されている測定データを、診断書もしくは食味品質評価票として印刷することができます。測定結果とともに、レーダーチャートやコメントタブに入力したコメントメモ等が印刷されます。さらに診断書においては、食味・外観測定データ、施肥量、登熟温度、栽植密度等から診断結果のコメントも印刷されます。

帳票選択

帳票名

玄米\$出力用診断書.xls
玄米\$食味品質評価票.xls

印刷モード

表示データ 範囲指定印刷

日付(必須項目) 2016/03/09 ~ 2016/03/09

並べ替え順 生産者コード

印刷プレビュー(A)
閉じる(C)

< 診断書 >

<<本機能は「営農指導版」のみ有効です。>>

あなたのお米の診断結果

サンプル情報				測定項目		データ	目標範囲	达标	※判定	普通	※判定	良い
サンプルNo	000001	刈名	刈田	水分	14.5	%	14.5~15.0%					☆
測定年月日	2016/1/19	刈取所名	刈田支所	タンパク	7.5	%	7%以下					☆
生産者コード	000001	品種	ひとめぼれ	アミロース	19.0	%	18%以下					☆
本産地名	宮城	等級	1等	糊粉率	22.0	%	16%以下			☆		
産地	刈田	心土等級	青	スコア	72.0		80以上					☆
収量	530	等級	H23	整熟率	65.2	%	80以上			☆		
産地番号	A-1	中干し	青	玄熱値	4.2	%	10%以下					☆
土壌名	黄砂土	選別水質	良	粒重	6.5	%	5%以下					☆
土壌作	ケイ酸	10	kg	貯蔵日	2015/5/10		2015/6/7	2015/9/15				☆
播種時期	暮まき	期		貯蔵日	2015/5/10		2015/6/7	2015/9/15				☆
播種日数	20	kg/ha	栽植密度	14	cm	71	粒/粒					☆
育苗場所	産地	病害	無	粒重	0.1	%	8%以下					☆
播種者	無	登熟日数	40	日	9.2	%	5%以下					☆
備考1		登熟温度	1000	°C	0.2	%	0%以下					☆
備考2		干粒量	23.5	g								
備考3												

施肥情報			
施肥	肥料名	施肥量	N P K
基肥	基肥1号	10.0 kg	1.5 0.5 1.5
追肥1	追肥	20.0 kg	4.2 0.0 0.0
追肥2	追肥加肥	5.0 kg	0.0 0.0 3.0
追肥3	追肥加肥	10.0 kg	0.0 0.0 2.0
追肥4	他ラコトワン777	10.0 kg	0.9 0.9 0.9
追肥5	ハイパー450	25.0 kg	2.5 1.5 1.8
	合計	91	7.9 2.9 9.1

※判定は良いですが、外観がやや劣ります。外観品質の再向上に努めてください。同判定が多くなっています。刈り取り遅れや乾燥に気をつけてください。

1分前計算からみた改善ポイントです。コメントを参照して詳しい条件を確認してください。

コメント

新農研機構株式会社
米品質評価システム

<食味品質評価票>

<<「食味分析計版」には、食味品質評価票の印刷機能はございません>>

食味品質評価票 (玄米)

サンプル情報			
サンプルNo	00000001	産名	JA豊田
測定年月日	2016/01/19	産地所名	JA豊田支所
生産者コード	000001	品種	ひとめぼれ
生産者名	鈴木	等級	1等

食味成分・特性								
別定項目	データ	目標範囲	劣る	やや劣る	普通	やや良い	良い	
水分	14.6 %	14.5-15.0%						☆
タンパク	7.6 %	7%以下				☆		
アミロース	19.0 %	1%以下				☆		
脂肪酸度	22.0	1%以下			☆			
スコア	72.0	80以上				☆		

食味格付	A
------	---

外観品質								
別定項目	データ	目標範囲	劣る	やや劣る	普通	やや良い	良い	
整粒	95.2 %	80以上			☆			
未熟粒	4.2 %	1%以下					☆	
被害粒	6.6 %	5%以下				☆		
割割粒	11.1 %	5%以下		☆				
碎粒	3.6 %	5%以下				☆		
他被害	0.1 %	5%以下					☆	
死米	9.2 %	5%以下			☆			
着色粒	0.2 %	5%以下			☆			

外観格付	B
------	---

--



総合評価	B
------	---

[2] 日報印刷

測定したデータを日付毎に選択して、日報印刷することができます。

また、日報印刷のウィンドウの右上にある「詳細設定」をクリックすると、日報に印刷する項目の選択と各項目を印刷する際のセルの幅を調整することができます。

デフォルトでは、「データベース項目」の欄には主要な項目だけを表示してありますが、必要に応じて「全フィールド表示」をクリックすることで、詳細な項目が「データベース項目」に表示されるようになり、「印刷項目」に追加できるようになります。

< 日報 >

測定日報一覧表

サンプルNo.	測定年月日	生産者コード	生産者名	品種	等級	水分	タンパク	アミノロス	脂肪酸度	食味格付	スコア	総合評価
0000001	2015/11/24	00001	鈴木	ひとめぼれ	2等	15.0	7.0	11.0	22	S	88	S
0000002	2015/11/24	00002	山田	コシヒカリ	1等	14.0	8.0	33.0	11	A	77	A
0000003	2015/11/24	00003	田中	あきたこまち	1等	16.0	6.0	20.0	33	S	77	S
0000004	2015/11/24	00001	鈴木	ひとめぼれ	2等	15.0	7.0	11.0	22	S	88	S
0000005	2015/11/24	00002	山田	コシヒカリ	1等	14.0	8.0	33.0	11	A	77	A
0000006	2015/11/24	00003	田中	あきたこまち	1等	16.0	6.0	20.0	33	S	77	S
0000007	2015/11/24	00001	鈴木	ひとめぼれ	2等	15.0	7.0	11.0	22	S	88	S
0000008	2015/11/24	00002	山田	コシヒカリ	1等	14.0	8.0	33.0	11	A	77	A
0000009	2015/11/24	00003	田中	あきたこまち	1等	16.0	6.0	20.0	33	S	77	S
0000010	2015/11/24	00001	鈴木	ひとめぼれ	2等	15.0	7.0	11.0	22	S	88	S
0000011	2015/11/24	00002	山田	コシヒカリ	1等	14.0	8.0	33.0	11	A	77	A
0000012	2015/11/24	00003	田中	あきたこまち	1等	16.0	6.0	20.0	33	S	77	S
0000013	2015/11/24	00001	鈴木	ひとめぼれ	2等	15.0	7.0	11.0	22	S	88	S
0000014	2015/11/24	00002	山田	コシヒカリ	1等	14.0	8.0	33.0	11	A	77	A
0000015	2015/11/24	00003	田中	あきたこまち	1等	16.0	6.0	20.0	33	S	77	S
0000016	2015/11/24	00001	鈴木	ひとめぼれ	2等	15.0	7.0	11.0	22	S	88	S
0000017	2015/11/24	00002	山田	コシヒカリ	1等	14.0	8.0	33.0	11	A	77	A
0000018	2015/11/24	00003	田中	あきたこまち	1等	16.0	6.0	20.0	33	S	77	S
0000019	2015/11/24	00001	鈴木	ひとめぼれ	2等	15.0	7.0	11.0	22	S	88	S
0000020	2015/11/24	00002	山田	コシヒカリ	1等	14.0	8.0	33.0	11	A	77	A
0000021	2015/11/24	00003	田中	あきたこまち	1等	16.0	6.0	20.0	33	S	77	S
0000022	2015/11/24	00001	鈴木	ひとめぼれ	2等	15.0	7.0	11.0	22	S	88	S
0000023	2015/11/24	00002	山田	コシヒカリ	1等	14.0	8.0	33.0	11	A	77	A
0000024	2015/11/24	00003	田中	あきたこまち	1等	16.0	6.0	20.0	33	S	77	S
0000025	2015/11/24	00001	鈴木	ひとめぼれ	2等	15.0	7.0	11.0	22	S	88	S
0000026	2015/11/24	00002	山田	コシヒカリ	1等	14.0	8.0	33.0	11	A	77	A
0000027	2015/11/24	00003	田中	あきたこまち	1等	16.0	6.0	20.0	33	S	77	S
0000028	2015/11/24	00001	鈴木	ひとめぼれ	2等	15.0	7.0	11.0	22	S	88	S
0000029	2015/11/24	00002	山田	コシヒカリ	1等	14.0	8.0	33.0	11	A	77	A
0000030	2015/11/24	00003	田中	あきたこまち	1等	16.0	6.0	20.0	33	S	77	S

(5) 設定 (各種条件設定)

[1] 自動採番設定

サンプル No. を手入力で変更した場合や、データの削除によって次に測定するサンプル No. がズレた場合には、次に測定するサンプルのサンプル No. を設定することができます。

自動採番設定

最終番号

OK 閉じる

[2] 機器・通信設定

(メニューバー⇒設定⇒機器・通信設定)

接続機器と機器通信条件の変更ができます。

接続する機器を設定する場合には、データを「有」に変更し、使用する機器を選択します。

機器通信条件を設定する場合には、接続するポート(チャンネル)やボーレート(通信速度)などの通信条件を設定してください。

メニューバーの「設定」をクリックします

通信設定

接続機器構成

接続機器	データ	機種名
穀粒判別器	有	ES1000
食味分析計	有	TM-3500
バーコードリーダ	無	

機器通信条件

接続機器	ポート	データ	パリティ	ストップビット	ボーレート	制御
穀粒判別器	6	8	None	One	9600	有
食味分析計	7	8	None	One	9600	無
バーコードリーダ		8	None	One	9600	無

閉じる

穀粒判別器の制御の項目は「有」を選択します

[3] システム設定

システムの各項目を設定できます。

システム設定

ファイルパスの設定

外部出力

印刷設定

自動単票印刷

食味格付基準設定

玄米 タンパク スコア

精米 タンパク スコア

レーダーチャート表示(玄米)

食味 水分ランク ▼ タンパクランク ▼ アミロースランク ▼ 脂肪酸度ランク ▼ スコアランク ▼

外観 表示無し ▼ 表示無し ▼ 表示無し ▼ 表示無し ▼ 表示無し ▼

診断書コメント用閾値の設定

①窒素全量	<input type="text" value="8"/> kg	④登熟温度1	<input type="text" value="1100"/> 度	⑥水分上限値	<input type="text" value="16"/> %	
②栽植密度 (中苗株数)	<input type="text" value="81"/> 株/坪	(着色粒・被害粒・胴割粒・碎粒用)	⑤登熟温度2	<input type="text" value="900"/> 度	⑦水分下限値	<input type="text" value="13.9"/> %
③栽植密度 (成苗株数)	<input type="text" value="71"/> 株/坪	(死米・未熟粒用)				

【ファイルパスの設定】

外部にデータを出力する際の出力先を指定することができます。

【印刷設定】

「自動単票印刷」の項目にチェックを入れると、サンプル測定後、「>」ボタンをクリックしますと、単票が自動印刷されるように設定できます。

【食味格付基準設定】

玄米および精米の食味格付を決定するときに基準とする成分を選択（タンパク or スコア）することができます。

【レーダーチャート表示】

レーダーチャートに表示させる各成分を食味分析計および穀粒判別器において、それぞれ選択することができます。
(ただし、少なくとも合計4項目以上は表示成分を選択する必要があります。)

【診断書コメント用の閾値の設定】

診断書のコメント欄に表示されるコメントを決定するための閾値を変更することができます。
(診断書のコメントを決定する具体的な処理の流れについては、「4. 診断書のコメントフロー」を参照。)

7. 診断書のコメント表示

＜＜本機能は、「営農指導版」のみ有効です。＞＞

(1) 診断書に表示されるコメントについて

[1] 営農指導版で使用することができる診断書機能です。

コメント欄に表示される営農指導用のコメントは、下表の各種条件によって決定します。

診断書のコメント内容には、「格付コメント」、「食味コメント」、「外観コメント」、「水分コメント」の4種類があります。
条件により、コメントの表示内容が決まります。

【各コメントの種類について】

1. 格付コメント：食味分析計と穀粒判別器の測定データから判定される格付によって決定するコメント
2. 食味コメント：窒素全量、透排水性、育苗様式、栽植密度などによって決定する食味に関するコメント
3. 外観コメント：病虫害、登熟温度などによって決定する外観に関するコメント
4. 水分コメント：食味分析計の水分値によって決定する水分に関するコメント

【診断書コメントの表示条件一覧】

食味格付	外観格付	参照マスタテーブル 診断書コメントの 「変換元」	コメント内容
A	—	A	食味は良いお米です。 更にSランク目指してがんばってください。
A	A	AA	食味・外観共に良いお米です。 更にSランク目指してがんばってください。
A	B	AB	食味は良いお米ですが、外観がやや劣ります。 外観品質の向上に努めてください。
A	C	AC	食味は良いお米ですが、外観が劣ります。 外観品質の向上に努めてください。
A	D	AD	食味は良いお米ですが、外観が劣ります。 外観品質の向上に努めてください。
A	S	AS	外観は大変良いお米です。 食味もSランクを目指してがんばってください。
B	—	B	食味は普通のお米です。 食味品質の向上に努めてください。
B	A	BA	外観は良いお米ですが、食味は普通です。 食味の向上に努めてください。
B	B	BB	食味は普通ですが、外観がやや劣ります。 食味・外観共に品質向上に努めてください。
B	C	BC	食味は普通のお米ですが、外観が劣ります。 外観品質の向上に努めてください。
B	D	BD	食味は普通のお米ですが、外観が劣ります。 外観品質の向上に努めてください。
B	S	BS	外観は大変良いお米です。 食味もSランク目指してがんばってください。
C	—	C	食味がやや劣ります。 食味品質の向上に努めてください。
C	A	CA	外観は良いお米ですが、食味がやや劣ります。 食味の向上に努めてください。
C	B	CB	食味・外観ともやや劣ります。 食味・外観共に品質向上に努めてください。
C	C	CC	外観が劣り、食味もやや劣ります。 食味・外観共に品質向上に努めてください。
C	D	CD	外観が劣り、食味も劣ります。 食味・外観共に品質向上に努めてください。
C	S	CS	外観は大変良いお米ですが、食味がやや劣ります。 食味もSランク目指してがんばってください。
D	—	D	食味が劣ります。 食味品質の向上に努めてください。
D	A	DA	外観は良いお米ですが、食味が劣ります。 食味の向上に努めてください。
D	B	DB	食味が劣り、外観もやや劣ります。 食味・外観共に品質向上に努めてください。
D	C	DC	食味・外観品質とも劣るお米です。 食味・外観共に品質向上に努めてください。
D	D	DD	食味・外観品質とも劣るお米です。 食味・外観共に品質向上に努めてください。
D	S	DS	外観は大変良いお米ですが、食味が劣ります。 食味の向上に努めてください。
S	—	S	食味は大変良いお米です。 これからも継続してがんばってください。
S	A	SA	食味は大変良いお米です。 外観もSランク目指してがんばってください。
S	B	SB	食味は大変良いお米ですが、外観がやや劣ります。 Sランク目指してがんばってください。
S	C	SC	食味は大変良いお米ですが、外観が劣ります。 外観品質の向上に努めてください。
S	D	SD	食味は大変良いお米ですが、外観が劣ります。 外観品質の向上に努めてください。
S	S	SS	食味・外観品質とも大変良いお米です。 これからも継続して頑張ってください。

	コメント内容	共通条件	個別条件
食味1	タンパクが高く食味を落としています。 施肥基準を守り、 特に出穂前10日を過ぎた 施肥は控えましょう。	・食味ランクがB以下 ・タンパクのランクがC以下	・窒素全量が ^g 8kg(①窒素全量)以上
食味2	心土破碎や粗穀暗きよで 透排水性の改善に務めてください。		・透排水性が不良
食味3	栽培密度の基準を守ってください。 (中苗82株/坪・成苗72株/坪以上)		・育苗様式が中苗 ・株数が81(②栽植密度(中苗株数))以下
食味4	栽培密度の基準を守ってください。 (中苗82株/坪・成苗72株/坪以上)		・育苗様式が成苗 ・株数が71(③栽植密度(成苗株数))以下
外観1	病害虫により 着色粒が多くなっています。 健苗育成と病害虫の 早期発見・防除を行ってください。	・外観格付けがB以下 ・外観ランク(穀粒判別器 の測定結果)に C以下がある	・着色粒のランクがC以下 ・病害虫有り
外観2	刈り取りが遅く、 着色粒が多くなっています。 適期刈り取りを行ってください。		・着色粒のランクがC以下 ・病害虫無し ・登熟温度が1100(④登熟温度1)以上
外観3	着色粒が多くなっています。 収穫後すみやかに乾燥し、 ヤケ米の発生を防止してください。		・着色粒のランクがC以下 ・病害虫無し ・登熟温度が1100(④登熟温度1)未満
外観4	病害虫が発生し、被害粒が多いです。 健苗育成と病害虫の 早期発見・防除を行ってください。		・被害粒のランクがC以下 ・病害虫有り
外観5	刈り取りが遅く、 被害粒が多くなっています。 適期刈り取りを行ってください。		・被害粒のランクがC以下 ・病害虫無し ・登熟温度が1100(④登熟温度1)以上
外観6	被害粒が多くなっています。 病害虫や 刈り取り適期に気をつけてください。		・被害粒のランクがC以下 ・病害虫無し ・登熟温度が1100(④登熟温度1)未満
外観7	水分が低く 胴割粒が発生しています。 過乾燥に気をつけ 適正水分にしてください。		・胴割粒のランクがC以下 ・水分が13.9%(⑦水分下限値)以下
外観8	刈り取りが遅く、 胴割粒が多くなっています。 適期刈り取りを行ってください。		・胴割粒のランクがC以下 ・水分が13.9%(⑦水分下限値)より大きい ・登熟温度が1100(④登熟温度1)以上
外観9	胴割粒が多くなっています。 刈り取り遅れや 過乾燥に気をつけてください。		・胴割粒のランクがC以下 ・水分が13.9%(⑦水分下限値)より大きい ・登熟温度が1100(④登熟温度1)未満
外観10	水分が低く碎粒が発生しています。 過乾燥に気をつけ 適正水分にしてください。		・碎粒のランクがC以下 ・水分が13.9%(⑦水分下限値)以下
外観11	刈り取りが遅く、 碎粒が多くなっています。 適期刈り取りを行ってください。		・碎粒のランクがC以下 ・水分が13.9%(⑦水分下限値)より大きい ・登熟温度が1100(④登熟温度1)以上
外観12	碎粒が多くなっています。 刈り取り遅れや 過乾燥に気をつけてください。		・碎粒のランクがC以下 ・水分が13.9%(⑦水分下限値)より大きい ・登熟温度が1100(④登熟温度1)未満
外観13	刈り取りが早く、 死米が多くなっています。 適期刈り取りを行ってください。		・死米のランクがC以下 ・登熟温度が900(⑤登熟温度2)以下
外観14	適期刈り取りや 篩い目の選択に気をつけてください。		・死米のランクがC以下 ・登熟温度が900(⑤登熟温度2)より大きい
外観15	刈り取りが早く、 未熟粒が多くなっています。 適期刈り取りを行ってください。		・未熟米のランクがC以下 ・登熟温度が900(⑤登熟温度2)以下
外観16	未熟米が多くなっています。 適期刈り取りや 篩い目の選択に気をつけてください。		・未熟米のランクがC以下 ・登熟温度が900(⑤登熟温度2)より大きい
水分1	水分が高く カビの原因となります。 乾燥調整に注意してください。	無し	・水分が 16.0%(⑥水分上限値)以上
水分2	水分が低く 食味低下の原因となります。 過乾燥に注意してください。	無し	・水分が 13.9%(⑦水分下限値)以下

上表の①～⑦は、メイン画面のメニューバーを開いた、
システム設定内にある「診断書コメント用閾値の設定」の値になります。

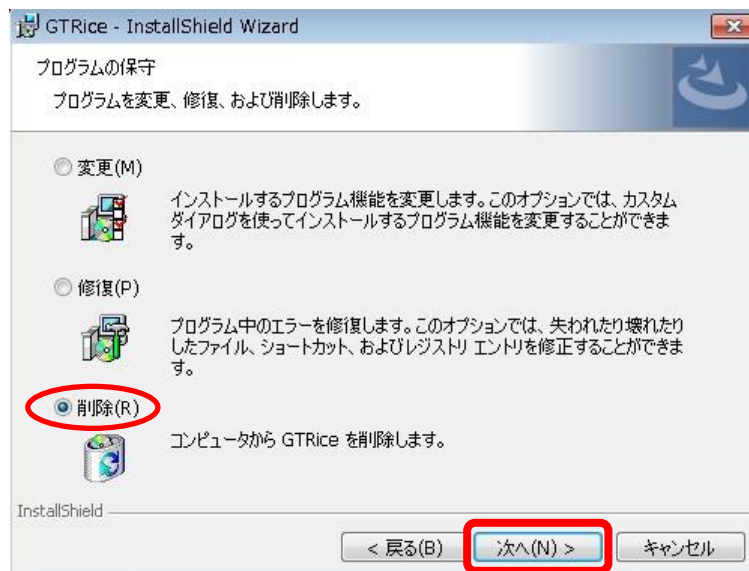
8. トラブルシューティング

トラブル内容	対応方法
<p>(1) 測定器からのデータが表示されない（通信ができていない）</p>	<p>①通信ケーブルがきちんと接続されているか確認してください。</p> <p>②GTRiceの測定器設定（測定器名およびデータの有無が「有」になっているか）が正しく設定されているか確認してください。 ⇒GTRiceのメニューバーの「設定」から「機器・通信設定」を開いて、「接続機種構成」の項目を確認してください。</p> <p>③通信設定（ポート（チャンネル）やボーレート、穀粒判別器では制御が「有」になっているかなど）が正しく設定されているか確認してください。 ⇒GTRiceの通信設定（メニューバーの「設定」から「機器・通信設定」を開いて「機器通信条件」の項目）を確認してください。 また、測定器の通信設定を確認し、ボーレート等がGTRiceの設定と合致しているか確認してください。</p> <p>④パソコンにシリアル変換アダプタのデバイスドライバをインストールしてあるか確認してください。</p>
<p>(2) 穀粒判別器での判別結果が、人の目で見えた判別結果と異なる</p>	<p>穀粒判別器の測定結果を、手入力で修正することができます。ただし、穀粒判別器の測定値を手入力で修正しても、仕様上変更結果は格付には反映されません。</p> <p>穀粒判別器の格付を変更したい場合には、直接格付欄に有効な格付値を入力してください。 （食味格付および総合格付の項目については、測定結果から自動計算されますので、手入力での変更はできません。）</p> <div style="border: 2px solid red; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; color: red; font-weight: bold;"> <p>手入力で測定値を変更した場合には、メーカー保証はできません。</p> </div>

(3) GTRice をアンインストールしたい

パソコンに付属のプロテクト用 USB メモリを接続し、GTRice_Setup フォルダにあるインストーラ (setup) を起動します。

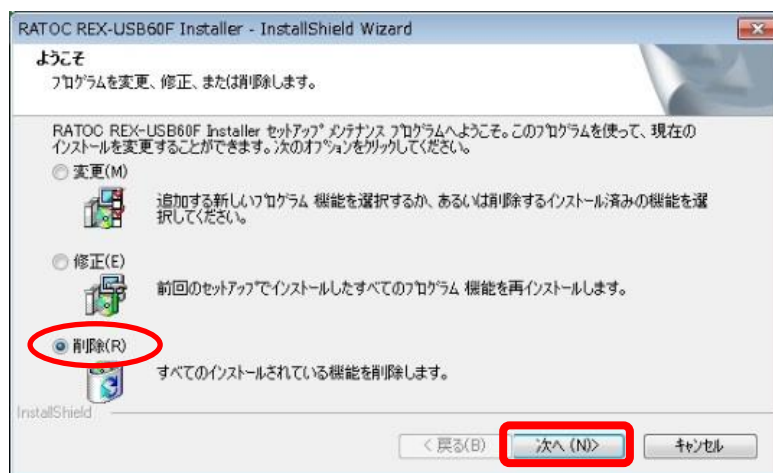
画面に従って進み、選択項目で「削除」を選択してください。



(4) USB シリアル変換アダプタ用ドライバをアンインストールしたい

パソコンにプロテクト用 USB メモリを接続し、GTRice_Setup フォルダ内の USB シリアル変換アダプタフォルダを開きます。インストールの時に使用したのと同じ「USB60F_Setup」をダブルクリックで起動します。

画面に従って進み、選択項目で「削除」を選択してください。



(5)GTRice が正常に動作しなくなってしまった場合のリカバリー

GTRice ソフトが起動していない状態で実行してください。

GTRice のバックアップデータを使って、前の状態にリカバリー、または初期設定で再セットアップすることができます。

プロテクト用 USB メモリ内の「GTRice_Setup」フォルダにある「GTRiceRecovery」フォルダを開きます。

「GTRiceRecovery」をダブルクリックで起動します。

- ①実行したい項目を選択します。
- ②復元するフォルダを選択します。
- ③「実行」ボタンをクリックします。



再セットアップ：初回インストールと同じです。
測定データは空の状態です。

再度セットアップをやり直したい場合や、バックアップされているデータを使用しても正常に動作しない場合に、使用します。

ハードディスクデータからリカバリー：

パソコンのハードディスクに保持されている直近の 30 個のバックアップデータの中から、選択してリカバリーを行います。

(フォルダ名は GTRice 終了時の日付と日時です。)

例えば、「GTRICE-20160126-092113」は
2016 年 1 月 26 日の 9 時 21 分 13 秒に、
GTRice を終了したときのバックアップデータになります。
データは、下位にいくほど日付は新しくなります。

USB データからリカバリー（※緊急事態用）：

基本的には、ハードディスクからのリカバリーのほうを使用してください。

USB データからのリカバリーでは、ハードディスクが壊れてしまうなどの非常事態の際に、プロテクト用 USB メモリ内に保存されているバックアップデータ（**※直近で使用・保存されていたデータベース 1 つだけ**）を使い、リカバリーを実行します。

(復元フォルダの欄に、直近で使用・保存していたデータベースが表示されます。)

【プロテクト用 USB メモリのバックアップデータについて】

緊急用に使用することを目的としているため、

プロテクト用 USB メモリからのリカバリーで復元できるのは、直近で使用・保存していたデータベースのデータのみです。

(※前回 GTRice 終了時のプロテクト用 USB メモリへの保存の際に、「USB メモリへの画像保存」にチェックを入れずに保存していた場合は、画像タブに保存していた画像は保存されておきませんので、リカバリー後のものに、画像タブの画像は復元されません。)

また、過去に別のデータベースで保持されていたデータも復元できません。

(6) 表示項目の追加や表示するタブの変更をしたい

ただし、表示するタブの変更は「営農指導版」のみ可

(5) 「GTRice が正常に動作しなくなってしまった場合のリカバリー」において、「再セットアップ」を選択・実行しますと、新しくデータベースを構成することにより、表示するタブを新たに作成することができます。

これまでに測定したデータは、元のデータベースに保管されます。

表示項目やタブの追加のための再セットアップは、できるだけ年度更新など大きな区切りになるところで実施するようにしてください。

測定途中で再セットアップしますと、再セットアップ前のデータとの整合性が取れなくなってしまいます。

連絡先

本ソフトに異常が発生し、原因が不明で適切な処置ができない場合は、
購入先または下記へ連絡してください。

- ◎ 製品の修理・お取扱いのご相談ならびにご依頼は、
最寄りの弊社営業所にお申し付けください。

静岡製機株式会社

特機推進部《〒437-1121》静岡県袋井市諸井1300

TEL〈0538〉23-2661 FAX〈0538〉23-2674

本社《〒437-8601》静岡県袋井市山名町4-1

TEL〈0538〉42-3111

北海道営業所	〒007-0804	札幌市東区東苗穂4条3丁目4番12号	TEL〈011〉781-2234
東北営業所	〒989-6135	宮城県大崎市古川稲葉字亀ノ子50-1	TEL〈0229〉23-7210
新潟営業所	〒950-0923	新潟市中央区姥ヶ山1丁目5番30号	TEL〈025〉287-1110
関東営業所	〒302-0017	茨城県取手市桑原字桑原1424-1	TEL〈0297〉73-3530
中部営業所	〒437-8601	静岡県袋井市山名町4-1	TEL〈0538〉43-2251
北陸営業所	〒920-0365	石川県金沢市神野町東52	TEL〈076〉249-6177
関西営業所	〒661-0032	兵庫県尼崎市武庫之荘東2丁目10-8	TEL〈06〉6432-7890
中四国営業所	〒700-0975	岡山市今2丁目8-12	TEL〈086〉244-4123
九州営業所	〒839-0862	福岡県久留米市野中町1438-1	TEL〈0942〉32-449

ホームページアドレス <http://www.shizuoka-seiki.co.jp/>

07293 200 001B